

平成10年度

年報

屋久島森林環境保全センター

平成12年3月

はじめに

平成11年度は、国有林野事業が木材生産の重視から森林の持つ公益的機能の発揮へと軸足を移し、さらに開かれた新生国有林として、新たな出発の実質的初年度となりました。屋久島の国有林についても、公益的機能の発揮を目的とした森林は65%でしたが、今般の改革により78%に拡大し、また、国有林野事業を実施する計画策定に当たっては、計画案を広く国民の皆様にご意見・縦覧するとともに、計画案についてご意見を頂くこととしています。

当保全センターでは、新たな方針に基づいて、従来より取り組んできた屋久島の国有林の公益的機能の発揮に関しての管理経営を行うこととなりますが、具体的には、森林生態系保護地域（世界自然遺産地域）の保護・保全に関する事業、治山事業、森林空間利用区域の整備に関する事業、森林機能等の普及教育活動等をより充実させて実施していくこととなります。

本年報において、平成10年度に実施した事業及び活動状況をまとめました。各事業において一応の成果は得られていると感じていますが、中でも、縄文杉の樹勢回復事業や雨量、水質調査は高い評価が得られたと満足しておりますし、土面川の災害復旧事業等の治山事業は島民の方々の人命や生活基盤を守るために不可欠の事業と考えています。

また、各種事業を行うに当たっては、関係行政機関との連携・調整を行うとともに、大学等の試験研究機関のご指導も仰ぎながら、広く各層の皆様のご意見も参考にし、各種事業を推進したいと考えております。

最後に、各事業実施に当たりご支援ご協力頂きました関係各位に深くお礼申し上げます。

平成12年3月

屋久島森林環境保全センター 所長

山部 正富

屋久島森林環境保全センターの概要について

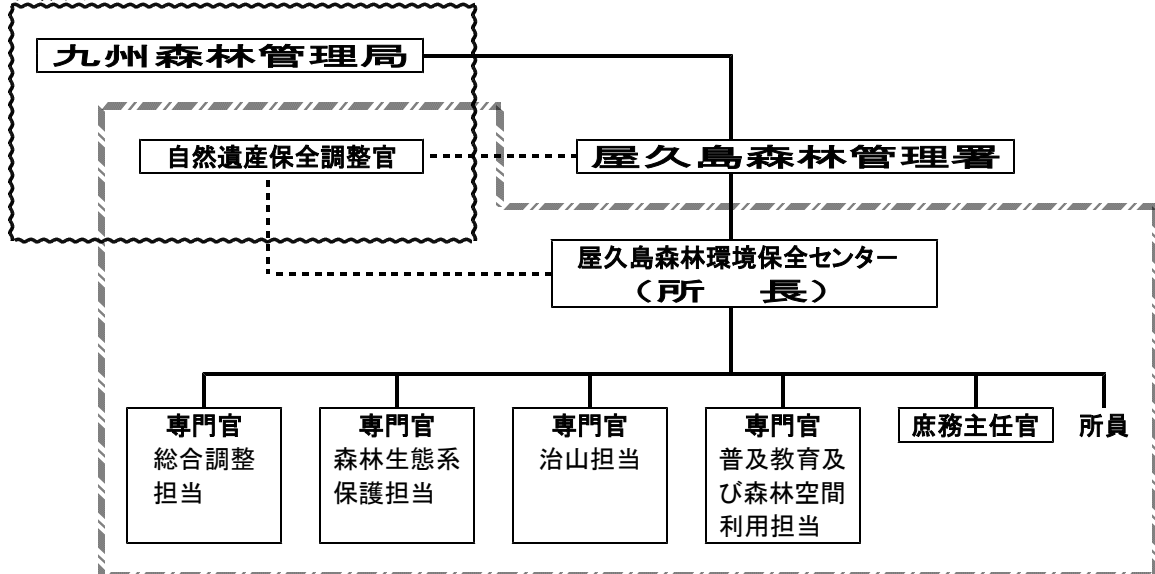
1 設置の目的

屋久島の国有林面積は約38千haで、島の91%を占める総森林面積の約84%を有しており、このうち約10千haが世界自然遺産に登録されるなど極めて貴重な森林が多い。このため、九州森林管理局では、従来から国有林の約40%（15千ha）を森林生態系保護地域に指定するなどその保全に努めてきたところであるが、今後更に自然遺産の厳正な保護及びその周辺地域を含めた森林環境の適切な保全・利用に資するため設置したものである。

2 沿革等

明治19年(1886)	5月	鹿児島大林区署宮之浦派出所設置
明治24年(1891)	11月	屋久島小林区署と改称
大正12年(1923)	6月	上屋久小林区署と下屋久小林区署に分割改組、翌年上屋久営林署に改称
平成4年(1992)	3月	屋久島森林生態系保護地域指定
平成5年(1993)	12月	世界遺産条約に基づく自然遺産として登録
平成7年(1995)	3月	下屋久営林署と統合・改組し、屋久島営林署と改称 屋久島森林環境保全センターを設置
平成11年(1999)	3月	屋久島森林管理署と改称

3 組織図



4 森林環境保全センターの主な業務

(1) 自然遺産保護のための調査等に関する業務

森林総合研究所、林木育種センター、大学等学術研究機関と連携を図りつつ、世界遺産地域を含む森林生態系保護地域等における自然環境の保護・保全及び調査、試験等を行う。

(2) 治山事業に関する業務

国有林における森林の国土保全機能及び保健休養機能の高度発揮のための森林整備及び治山施設整備の実行等を行う。

(3) 森林教育等に関する業務

屋久島の森林生態、森林の役割、自然との共生のあり方等に関して、森林生態系保護地域(保全利用地区)を活用した森林教育・普及啓発活動と屋久島自然休養林等の森林レクリエーション等への適正利用のための施設の整備等を行う。

(4) その他屋久島の森林環境保全に必要な業務

入林者の指導、森林パトロールなどを行う。

屋久島森林環境保全センターの主な業務

I. 森林生態系保護

世界自然遺産保全緊急対策事業



縄文杉樹勢回復措置(編籠工)実施状況

雨量観測



大川林道雨量計(標高1020m)

水質調査



林外雨採取装置

II. 治山事業

国有林野内直轄治山災害関連緊急事業



白谷地区(ストーンブロック)

重要自然維持地域保安林整備事業



苔の橋(ヤクスギランド:80分コース)

III. 普及教育・森林空間利用等

森林教室



保全センター会議室での実施状況

森林空間利用(ヤクスギランド入口)



(森林環境整備推進協力金で施設の整備等を行っている)

観光客の利用状況

屋久島国有林の概要について

1 屋久島の面積

(単位：千ha)

区 分	総面積	森林面積	国有林面積	
			国有林面積	国有林比率
上屋久町	26.1	24.6	20.4	83%
屋久町	24.2	21.0	18.0	86%
計	50.3	45.6	38.4	84%

資料：1 総面積・森林面積は、平成10年度鹿児島県林業統計より抜粋、口永良部島を除く。

2 国有林の人工林、天然林別の面積内訳

(単位：千ha)

人工林	天然林	その他	計
(22%)	(74%)	(4%)	(100%)
8.6	28.5	1.3	38.4

3 屋久島国有林の森林整備の推進方向

(単位：千ha)

森林整備の推進方向	(割合) 対象面積	森林整備の考え方
「水土保全」 を重視する森林整備	(34.4%) 13.2	国土の保全、水資源のかん養機能の高度発揮のための、 森林整備を推進
「森林と人との共生」 を重視する森林整備	(43.2%) 16.6	森林生態系の保全や森林空間利用を重視した、森林施業 を推進
「資源の循環利用」 を重視する森林整備	(22.4%) 8.6	公益的機能の発揮に配慮しつつ、効率的な木材生産を推 進
計	(100%) 38.4	

4 国有林の公益的機能高度発揮林分

(1) 保安林

(単位：ha)

水源かん養	土砂流失防備	防風	潮害防備	保健
7,215	1,010	8	54	629

(2) 保護林等

(単位：千ha)

森林生態系 保護地域	レクリエー ションの森	世界自然遺 産登録地域	国立 公園	原生自然環 境保全地域	鳥獣 保護区	史跡・名勝 天然記念物
15	1	10	18	1	3	4

注意：保護林等の面積は重複している。

5 森林生態系保護地域の内訳面積

(単位：ha)

区 分	面 積	
屋久島森林生態系保護地域	保存地区	9,600
	保全利用地区	5,585
	計	15,185

6 世界自然遺産登録地域

(単位：ha)

区 分	面 積
国有林	10,260
うち森林生態系保護地域	10,236
民有林	487
計	10,747

I	森林生態系保護	1
1	世界自然遺産保全緊急対策事業	1
	(1) 生態系モニタリング調査	1
	(2) 屋久杉樹勢回復措置及び植生回復措置	1
2	モニタリングの実施	3
	(1) 屋久島国有林における水質調査	3
	(2) 写真映像による森林生態系のモニタリング	4
II	治 山	7
1	平成10年度治山事業一覧	7
	(1) 国有林野内復旧治山工事	7
	(2) 屋久島地区重要自然維持地域保安林整備事業	7
	(3) 保安林整備事業	7
	(4) 災害復旧等事業（平成 9年度から繰越分）	7
	(5) 災害復旧等事業（平成11年度へ繰越分）	7
2	屋久島における雨量観測	8
III	普及教育・森林空間利用	10
1	森林教室等の実施	10
2	屋久島自然休養林	12
	(1) 森林環境整備推進協力金の実施	12
	(2) 利用者数	12
	(3) 利用者の県別頻度	13
3	広報活動	14
	(1) 保全センター所報「洋上アルプス」の作成	14
	(2) 年報の作成	14
	(3) セルフガイドブック「屋久島の森林」の販売	14
	(4) 杉の名前募集	14
	(5) ホームページで保全センターを紹介	14
IV	その他の事業	15
1	森林パトロールの実施	15
	(1) ゴールデンウィーク期間中	15
	(2) 夏休み期間中	15
	(3) その他の期間	16
2	資料室の整備	17
	(1) 保全センター保有図書一覧表	17
	(2) 保全センター保有資料	21
3	学術調査等の入林状況	22
4	報告書リスト	23
V	保全センターの関連行事	32
VI	視察等対応状況	34

I 森林生態系保護

1 世界自然遺産保全緊急対策事業

(1) 生態系モニタリング調査

ア 屋久島の国有林について

調査の目的

森林生態系保護地域の設定、世界自然遺産への登録等屋久島国有林に対する国民のニーズが多様化する中で、自然と人との共生を目指すことを目的として、屋久島のこれまでの森林施業の検証を行い、自然保護に配慮しながら持続可能な森林経営の実証の場とするため、屋久島における森林施業のあり方について検討する。

調査については日本林業技術協会に委託し、「屋久島生態系モニタリング調査報告書」を作成した。

イ 屋久島における天然林施業について

調査目的、項目

今回の調査は、①群状択伐地（1伐区の面積おおむね0.2 ha）及び小面積皆伐地（1伐区の面積おおむね2 ha）の天然更新がどのように行われたか、②その伐採跡地の天然更新の現状を把握することにより、今後の森林の施業方法等のあり方について検討するものである。更には、調査地としてモニタリング・プロット（区画）を設定することにより、次の第2回帰群状択伐期における伐採地の植生の再生状況及び今後における天然更新の変遷過程を正確に把握する資料として活用できることを期待するものである。

そのため、①ヤクスギ天然林内には種々の試験地が設定されているので、その内の適当な試験地の設定当初の諸調査データの整理、②調査地の環境、植生等の概況、③モニタリング・プロット設定地の現況、④区画ごとの樹種別、幹径別、樹木調査、⑤区画ごとのヤクスギ幼樹及びその他の樹木の分布状況、⑥草本類の生育状況、などについて調査した。

ウ 水質への影響調査

森林総合研究所九州支所が担当し、入り込みが水質に与える影響を調べるため、昨年度に引き続き林外雨4カ所、渓流水8カ所、計12カ所において水質モニタリングを行う。

分析は、EC（電気伝導度）、pH、陽イオン、陰イオンについて行った。

(2) 屋久杉樹勢回復措置及び植生回復措置

ア 目的

屋久島は、縄文杉等屋久杉の巨木群を代表とする、特殊な生態系が素晴らしい景観を呈していること等により、世界自然遺産に登録されたものであるが、それらの巨木群の中には、樹勢の衰えなど入り込み者の踏み込み等による影響が発現し、このまま放置すれば樹勢の回復が困難となる可能性もあることから、樹木医等専門家による樹勢の判定を行うとともに樹勢回復措置を実施し、併せて今後のモニタリングの方法、樹勢維持のための保護方法について検討を行い、屋久島自然遺産の象徴である屋久杉の適切な保護を図ることを目的とする。

イ 樹勢回復措置工

平成9年度に縄文杉と大株歩道の予備調査を実施しており、本年度は縄文杉周辺の本格調査と樹勢回復に関する試験施工を実施した。

調査内容及び方法

地形等調査： 縄文杉は、東向き大斜面の中腹にあるので斜面全体の状態を把握するため、縄文杉周辺裸地部の測量、高低測量、縄文杉根張りの測定、地覆物及び周辺立木（カナクギノキ）調査を実施した。

このほか縄文杉上部斜面の状況を知るため、北側沢筋沿いに尾根まで測量を実施した。

土壌調査： 縄文杉周辺、特に東側斜面の縄文杉から展望デッキまでの間で、中央・左側・右側部分と縄文杉上部（西側）の左側と右側の計14箇所のポイントで土壌断層調査を実

施した。

さらに本年度は、人の入り込み者が少ない夫婦杉についても、縄文杉との衰退度比較調査のための土壌断層調査を実施した。

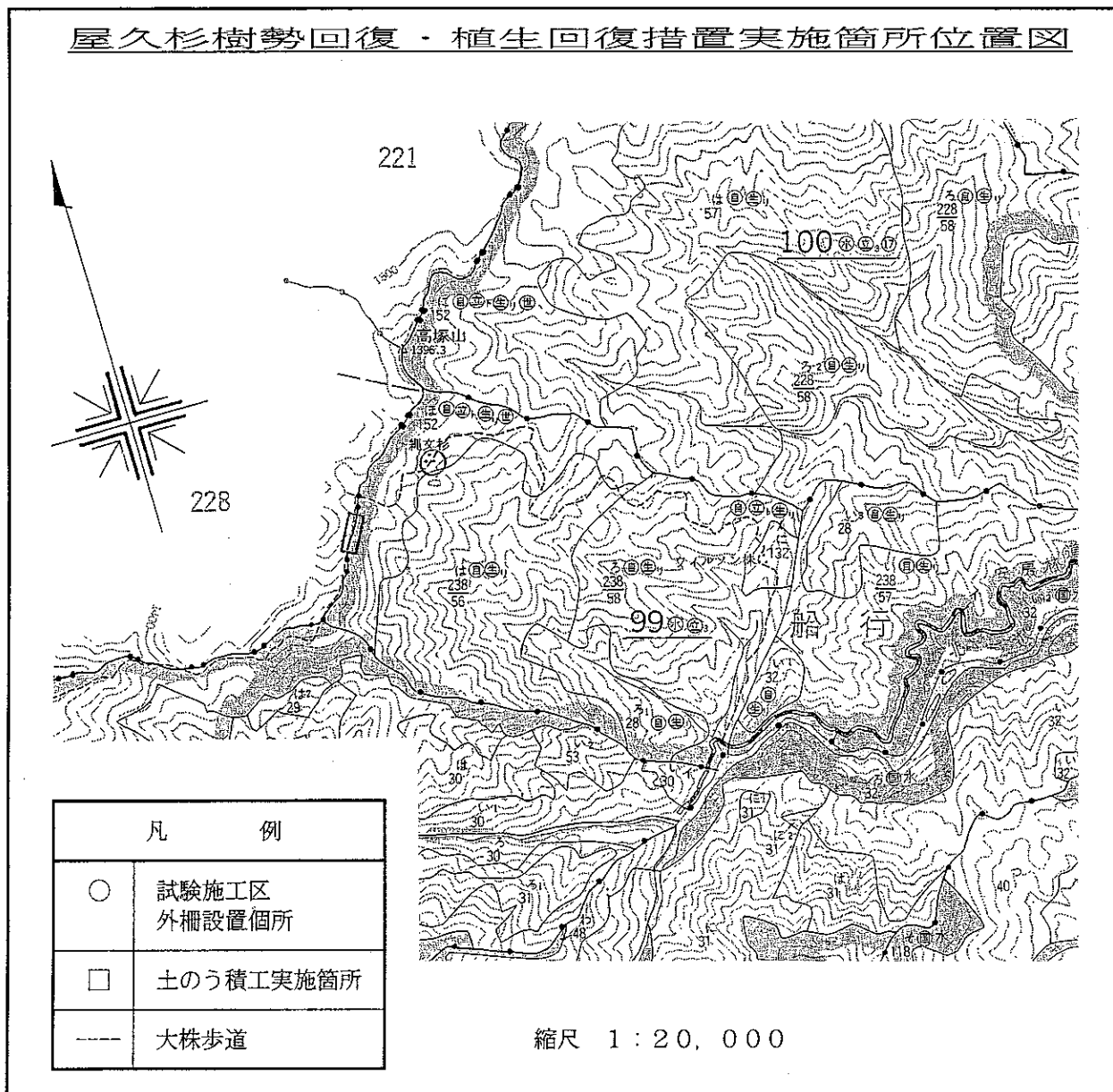
植生調査： 縄文杉前面の植生調査が著しく遅れ、半裸地化している場所の植生回復を調べるため、長さ22cmのラインを縄文杉前面の半裸地化した場所を横断するように設置し、2m毎にライン上に2×2mの方形区をとり、各方形区の群落高とその中に出現する木本植物の根元直径調査及び種別の出現個体数調査を実施した。

試験施工区： 縄文杉の北側（A区9.14㎡）で若干ハイノキ等の植生が見られる所と、東側前面（B区5.27㎡）の植生がほとんど見られない所に小面積の試験施工区を設定し施工した。なお、施工順序は、木片除去、土のう除去、編柵設置、DOパイプ設置、土壌改良の順で実施した。

ウ 植生回復措置工

展望デッキ下への入り込むのを防止するために外柵（23m）を設置し、旧高塚小屋から宮之浦岳に至る間で、旧高塚小屋周辺の浸食が激しい歩道に土のう積工（100m）を実施した。

屋久杉樹勢回復・植生回復措置実施箇所位置図



2 モニタリングの実施

(1) 屋久島国有林における水質調査

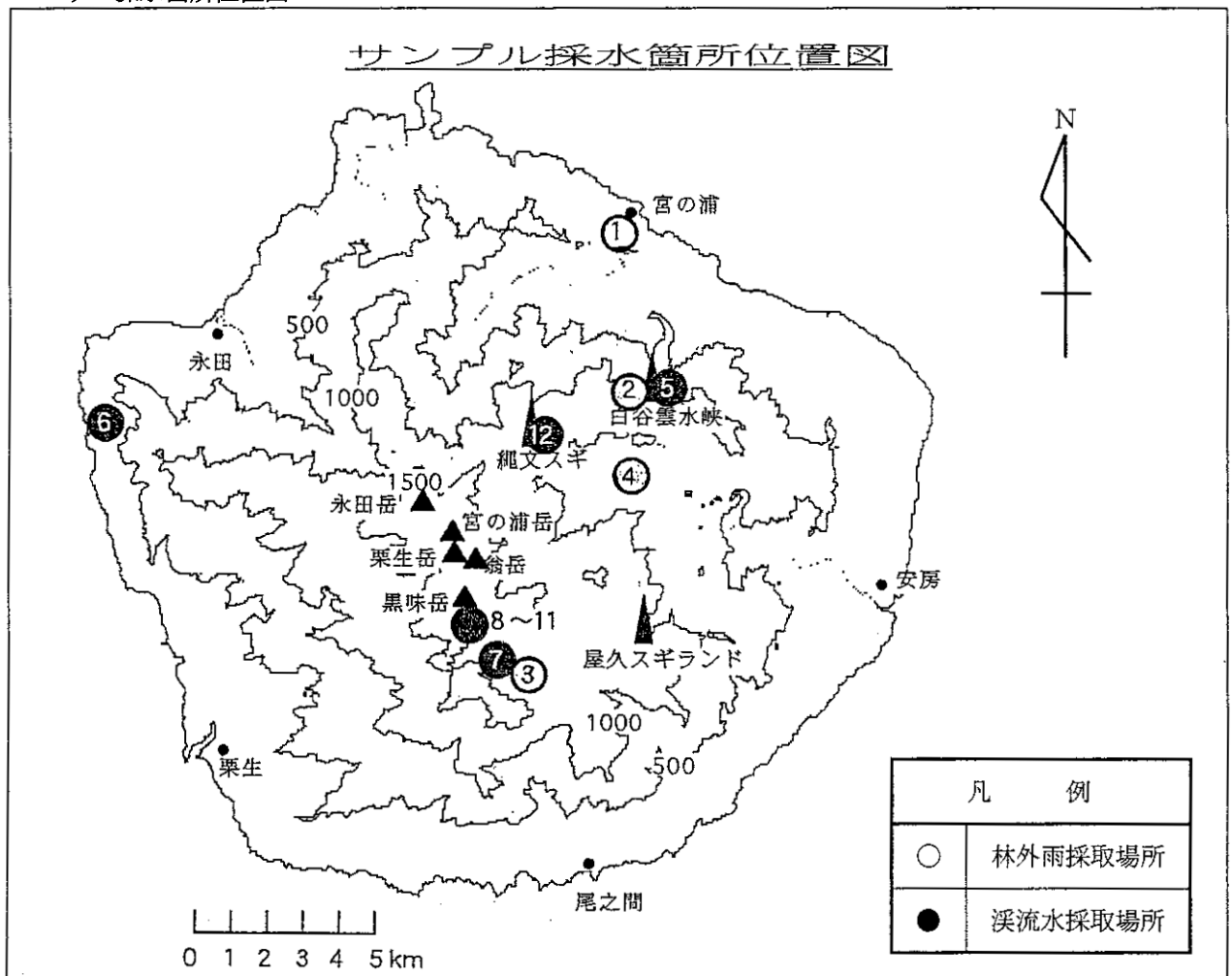
ア 目的

森林総合研究所九州支所と共同で、屋久島の森林生態に深く関係する水質について調査を行い、土壌地質との関わり等についての基礎資料とすることを目的に、平成7年度より実施、平成8年度からは世界自然遺産保全緊急対策事業の一つとして実施している。

イ サンプル採取箇所一覧表

番号	採取箇所名	項目	標高	備考
1	保全センター・林友寮	林外雨	20m	(96.10.28 設置)
2	白谷雨量計	〃	580m	(96.12.04 設置)
3	淀川登山口	〃	1,350m	(96.10.31 設置)
4	小杉谷事業所跡	〃	660m	(96.10.30 設置)
5	白谷雲水峽	渓流水	700m	水源の森
6	半山 (大プロット内)	〃	170m	モニタリングプロット設定箇所
7	淀川小屋	〃	1,370m	水飲み場
8	花之江河流入箇所	〃	1,630m	高層湿原, 流入箇所
9	花之江河流出箇所	〃	1,630m	高層湿原, 流出箇所
10	小花之江河流入箇所	〃	1,630m	高層湿原 (面積小), 流入箇所
11	小花之江河流出箇所	〃	1,630m	高層湿原 (面積小), 流出箇所
12	縄文杉水飲み場	〃	1,310m	展望デッキ下水飲み場

ウ 採水箇所位置図



エ 平成10年度pH値一覧表

採取箇所	10/4	5	6	7	8	9	10	11	12	11/1	2	3	平均
林友寮	5.1	4.6	4.7	6.1	4.2	4.7	4.7	4.4	4.1	4.5	4.4	4.8	4.7
白谷雨量計	4.7	5.0	5.1	4.8	4.5	4.6	4.8	4.8	4.3	4.5	4.5	4.8	4.7
淀川登山口	5.1	5.3	5.3	5.2	4.7	4.8	5.5	5.1	4.5	4.9	4.8	5.2	5.0
小杉谷事業所跡	5.1	5.1	5.1	5.4	4.6	4.7	4.9	5.0	4.3	4.7	4.6	4.9	4.9
白谷雲水峡	6.1	6.1	6.2	6.1	6.2	6.1	5.8	5.9	6.0	5.8	6.0	6.2	6.0
半山プロット内	6.0	5.9	6.0	5.9	6.1	6.1	5.9	5.9	5.8	5.7	5.8	5.8	5.9
淀川小屋	6.2	6.1	6.2	6.1	6.3	6.3	5.8	6.2	6.0	6.2	6.1	6.1	6.1
花之江河入口	5.5	5.7	5.6	5.5	5.6	5.7	5.5	5.7	5.6	5.8	5.4	5.4	5.6
花之江河出口	5.5	5.6	6.0	5.7	5.7	6.1	5.2	5.9	5.4	5.7	5.3	5.3	5.6
小花之江河入口	5.7	5.6	5.5	5.7	5.7	5.4	5.5	5.7	5.6	5.7	5.6	5.5	5.6
小花之江河出口	5.9	5.7	5.5	5.8	6.0	5.6	5.6	5.9	5.9	6.1	5.7	5.7	5.8
縄文杉	5.9	—	5.7	—	6.0	—	5.5	—	6.0	5.6	5.7	5.8	5.8

オ 平成10年度EC値一覧表 (EC:電気伝導度)

採取箇所	10/4	5	6	7	8	9	10	11	12	11/1	2	3	平均
林友寮	15.0	25.8	16.6	11.7	36.3	380.0	53.6	45.9	154.1	69.2	144.2	39.9	82.7
白谷雨量計	16.6	11.1	7.7	10.2	18.1	22.6	24.5	20.3	39.9	51.2	61.0	19.7	25.2
淀川登山口	8.2	4.9	6.4	5.9	12.0	31.3	18.0	11.7	36.5	19.5	22.6	9.1	15.5
小杉谷事業所跡	8.8	9.2	7.2	6.7	14.6	36.3	20.0	17.4	85.5	38.9	45.8	14.3	25.4
白谷雲水峡	28.7	24.0	28.3	27.2	28.8	30.8	32.5	28.8	31.7	28.9	32.7	31.7	29.5
半山プロット内	57.1	53.1	56.9	51.9	50.8	54.3	57.2	55.0	55.0	54.9	66.6	65.1	56.5
淀川小屋	21.2	16.7	19.5	16.9	17.8	19.6	21.3	21.7	22.2	26.3	24.4	23.6	20.9
花之江河入口	20.1	14.6	15.5	14.0	15.5	14.4	19.2	19.6	20.2	23.5	28.0	26.4	19.3
花之江河出口	18.6	12.3	15.0	11.6	10.6	15.4	21.6	20.8	18.7	21.4	24.3	27.0	18.1
小花之江河入口	18.0	14.0	19.0	13.3	13.9	23.3	21.4	20.3	19.7	19.6	21.4	23.2	18.9
小花之江河出口	18.5	13.7	13.8	13.3	13.9	11.7	20.3	20.2	19.5	25.6	22.6	23.6	18.1
縄文杉	19.3	—	16.0	—	18.7	—	20.0	—	23.3	28.4	26.8	22.2	21.8

※ 縄文杉の欠測は、業務で縄文スギ登山したときに採水することになっているためである。

(2) 写真映像による森林生態系のモニタリング

ア 目的

縄文杉等の著名屋久杉、高層湿原、登山歩道沿いの森林等について定点を設け、継続的に写真撮影を実施し、これをパソコン収録のデータベースとする長期モニタリングシステムを確立するとともに、今後の森林の保全・整備の基礎資料とすることを目的とする。

また、この事業は一部の箇所については、環境庁、森林総合研究所九州支所と共同で実施している。

イ モニタリング箇所
(環境庁との共同定点)

場 所	目 的	撮影スパン	備 考
縄文杉	縄文杉根本周辺の植生の推移 縄文杉の幹・枝・着生植物の変化 周辺植生と景観の推移	年1回	
大王杉	大王杉根本周辺の植生の推移 大王杉の幹・枝・着生植物の変化 周辺植生と景観、及び歩道状況の推移	年1回	定点杭設置：H10. 3
翁杉	翁杉根元周辺の植生の推移 翁杉の幹・枝・着生植物の変化 周辺植生と景観、及び歩道状況の推移	年1回	定点杭設置：H10. 3
紀元杉	紀元杉の幹・枝・着生植物の変化 周辺植生と景観の推移	年1回	定点杭設置：H10. 3
仏陀杉	仏陀杉の幹・枝・着生植物の変化 仏陀杉根本周辺の植生の推移	年1回	

場 所	目 的	撮影スパン	備 考
ウイルソン株	株の腐食状況の推移 株の蘇苔類の状況推移 周辺植生と景観、及び歩道状況の推移	年1回	定点杭設置：H10. 3
花之江河	湿原の土砂流入状況及び植生の推移 湿原周辺の景観の推移 木道の状況推移	年1回	
小花之江河	湿原の土砂流入状況及び植生の推移 湿原周辺の景観の推移 木道の状況推移	年1回	
高塚小屋	小屋周辺の歩道と景観の推移 小屋周辺の木の根の露出状況 小屋の状況の推移	年1回	定点杭設置：H10. 3
淀川小屋	小屋周辺の歩道と景観の推移 小屋周辺の木の根の露出状況 小屋の状況の推移	年1回	
西部林道	植生等の景観の状況変化 枯損木状況の推移 山地崩壊地の状況推移	年1回	
投石平	黒味岳山麓の白骨樹の状況変化 周辺の荒廃状況及び植生状況の推移 周辺歩道の状況推移	年1回	

(森林総合研究所九州支所との共同定点)

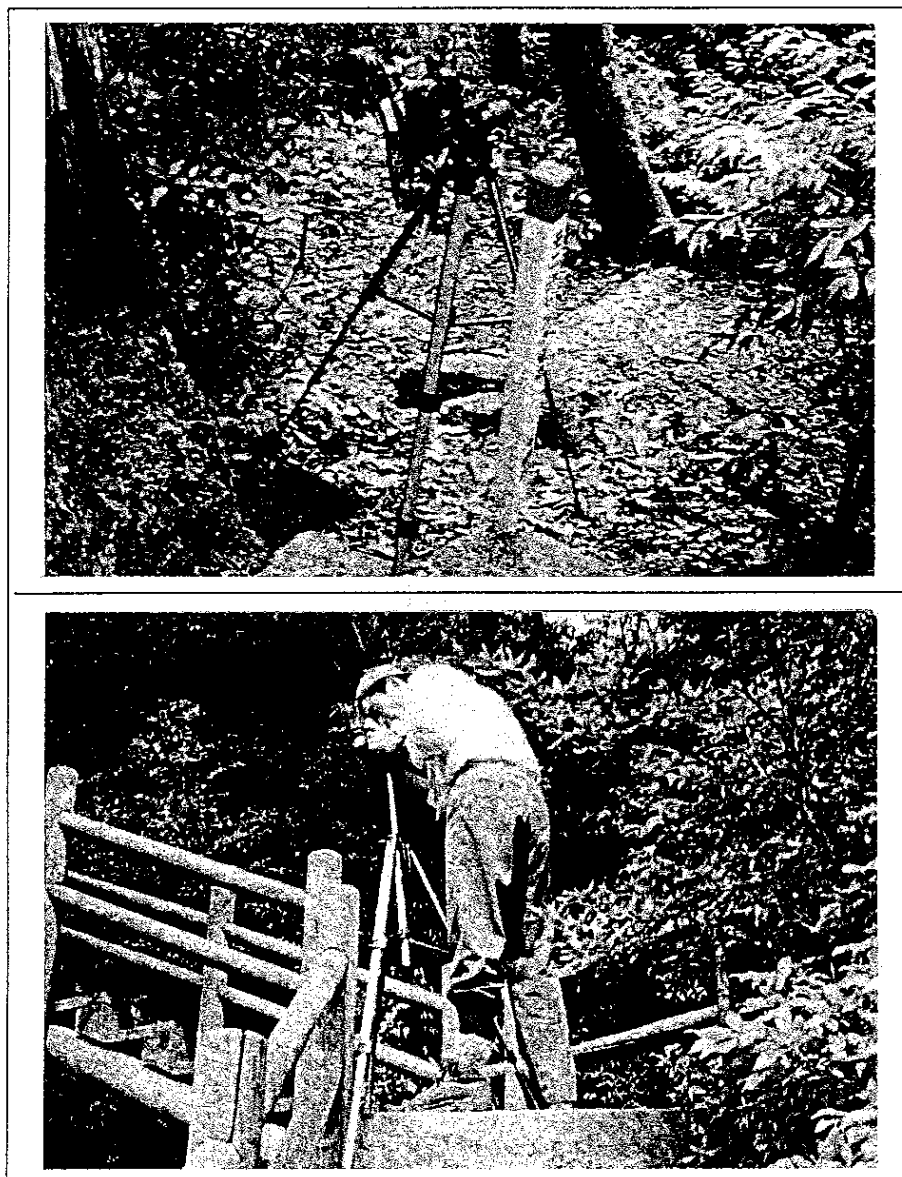
場 所	目 的	撮影スパン	備 考
ヤクタネゴヨウ群生地 (4林班)	ヤクタネゴヨウ個体の状況変化 群生地点の状況変化 周辺植生の変化	年2回	西部林道沿い
ヤクタネゴヨウ群生地 (48林班)	ヤクタネゴヨウ個体の状況変化 群生地点の状況変化 周辺植生の変化	年2回	平内地区
ヤクタネゴヨウ群生地 (66林班)	ヤクタネゴヨウ個体の状況変化 群生地点の状況変化 周辺植生の変化	年2回	高平地区

(保全センター単独定点)

場 所	目 的	撮影スパン	備 考
弥生杉	弥生杉根本周辺の植生の推移 弥生杉幹・枝・着生植物の変化 周辺植生と景観の推移	年2回	
半山プロット	プロット内の植生の推移 プロット内のギャップ等の推移	年2回	2林班
田代ヶ浜プロット	プロット内の植生の推移 プロット内のギャップ等の推移	年2回	111林班
愛子岳プロット	プロット内の植生の推移 プロット内のギャップ等の推移	年2回	204林班
白谷プロット	プロット内の植生の推移 プロット内のギャップ等の推移	年2回	214林班
二人プロット	プロット内の植生の推移 プロット内のギャップ等の推移	年2回	80林班
天文プロット	プロット内の植生の推移 プロット内のギャップ等の推移	年2回	86林班
小花山プロット	プロット内の植生の推移 プロット内のギャップ等の推移	年1回	86林班
花山プロット	プロット内の植生の推移 プロット内のギャップ等の推移	年1回	17林班

場 所	目 的	撮影スパン	備 考
天然小杉群プロット	プロット内の植生の推移 プロット内のギャップ等の推移	年1回	9 9 林班
小花之江河手前 休憩地プロット	プロット内の植生の推移 歩道の状況推移	年1回	8 2 林班
ササ生地プロット	プロット内の植生の推移 歩道の状況推移	年1回	9 4 林班
ササ生地プロット	プロット内の植生の推移 歩道の状況推移	年1回	2 2 林班
淀川小屋周辺 プロット	プロット内の植生の推移 歩道の状況推移	年1回	8 2 林班
植生回復工実施箇所 (大株歩道)	歩道とその周辺の植生の推移 歩道の荒廃状況の推移	年1回	高塚小屋～縄文スギ
植生回復工実施箇所 (宮之浦岳登山道)	歩道とその周辺の植生の推移 歩道の荒廃状況の推移	年1回	登山道入り口 ～淀川小屋手前
イスノキ群生地	イスノキとその周辺植生の推移	年2回	2 1 5 林班
ヒメシャラ群生地	ヒメシャラとその周辺植生の推移	年2回	2 2 8 林班

弥生杉撮影状況



Ⅱ 治 山

1 平成10年度治山事業一覧表

(1) 国有林野内復旧治山工事

NO	工 事 名	国 有 林 林 小 班	種 別	主 工 種	数 量	工 期	完 年 成 月 日	備 考
1	白 谷 治 山 工 事	宮之浦岳 217に1	復 旧 治 山	コンクリート 谷止工	m3 649.5	10.6.1～ 10.12.22	10.12.15	ストーンブ ロック
2	土面川本流治山工事	平瀬 258わ	〃	〃	599.1	10.6.1～ 10.12.22	10.12.16	
3	土面川支流治山工事	平瀬 258り	〃	〃 山腹工	452.2 0.41ha	10.6.1～ 10.12.22	10.12.11	

(2) 屋久島地区重要自然維持地域保安林整備事業

NO	工 事 名	国 有 林 林 小 班	種 別	主 工 種	数 量	工 期	完 年 成 月 日	備 考
1	屋久島地区治山工事 (荒川)	ハ岳, 太忠岳 85い, 86い	重要 自然	木 橋	m 11.0	10.7.3～ 11.1.25	11.1.25	苔の橋

(3) 保安林整備事業

NO	工 事 名	国 有 林 林 小 班	種 別	主 工 種	数 量	工 期	完 年 成 月 日	備 考
1	石塚外1治山事業 (除伐外1)	石塚外1 203か外	保安林 改 良	除伐外1	ha 15.05	10.10.21 10.11.30	10.11.30	受託事業
2	愛子岳外1治山事業 (除伐)	愛子岳 203と外	〃	除 伐	9.49	10.3.5～ 11.5.31	11.5.31	繰 越

(4) 災害復旧等事業 (平成9年度から繰越)

NO	工 事 名	国 有 林 林 小 班	種 別	主 工 種	数 量	工 期	完 年 成 月 日	備 考
1	黒味治山工事 (施設災)	黒味 28つ	復 旧 治 山	コンクリート 谷止工	m3 1,052.8	10.3.13～ 10.11.27	10.11.27	繰 越
2	宮之浦治山工事 (関連災)	宮之浦岳 237わ	〃	〃	1,142.1	10.3.13～ 10.11.27	10.11.4	繰 越
3	神之川治山工事 (関連災)	宮之浦岳 224ら 226に1	〃	コンクリート谷止工 コンクリート土留工 山腹工	797.8 140.8 0.23ha	10.3.13～ 10.11.27	10.8.26	繰 越

(5) 災害復旧等事業 (平成11年度へ繰越)

NO	工 事 名	国 有 林 林 小 班	種 別	主 工 種	数 量	工 期	完 年 成 月 日	備 考
1	白 谷 治 山 工 事 (関連災)	宮之浦岳 217に1	復 旧 治 山	コンクリート 谷止工 〃 〃 練石張工	m3 504.0 690.8 498.5 512.0m ²	11.2.25～ 11.12.22	11.12.22	繰 越
2	土面川上流治山工事 (関連災)	平 瀬 258に	〃	コンクリート 谷止工 資材運搬路	1142.5 512.0m	11.2.25～ 11.12.10	11.12.10	繰 越
3	土面川下流治山工事 (関連災)	平 瀬 258ろほ	〃	コンクリート 谷止工	837.6 1324.1	11.2.25～ 11.11.29	11.11.29	繰 越
4	小 島 治 山 工 事 (関連災)	芋塚岳 49り4	〃	コンクリート 谷止工 副堤, 側壁	544.2 232.0	11.2.25～ 11.11.17	11.11.16	繰 越

2 屋久島における雨量観測

(1) 目的

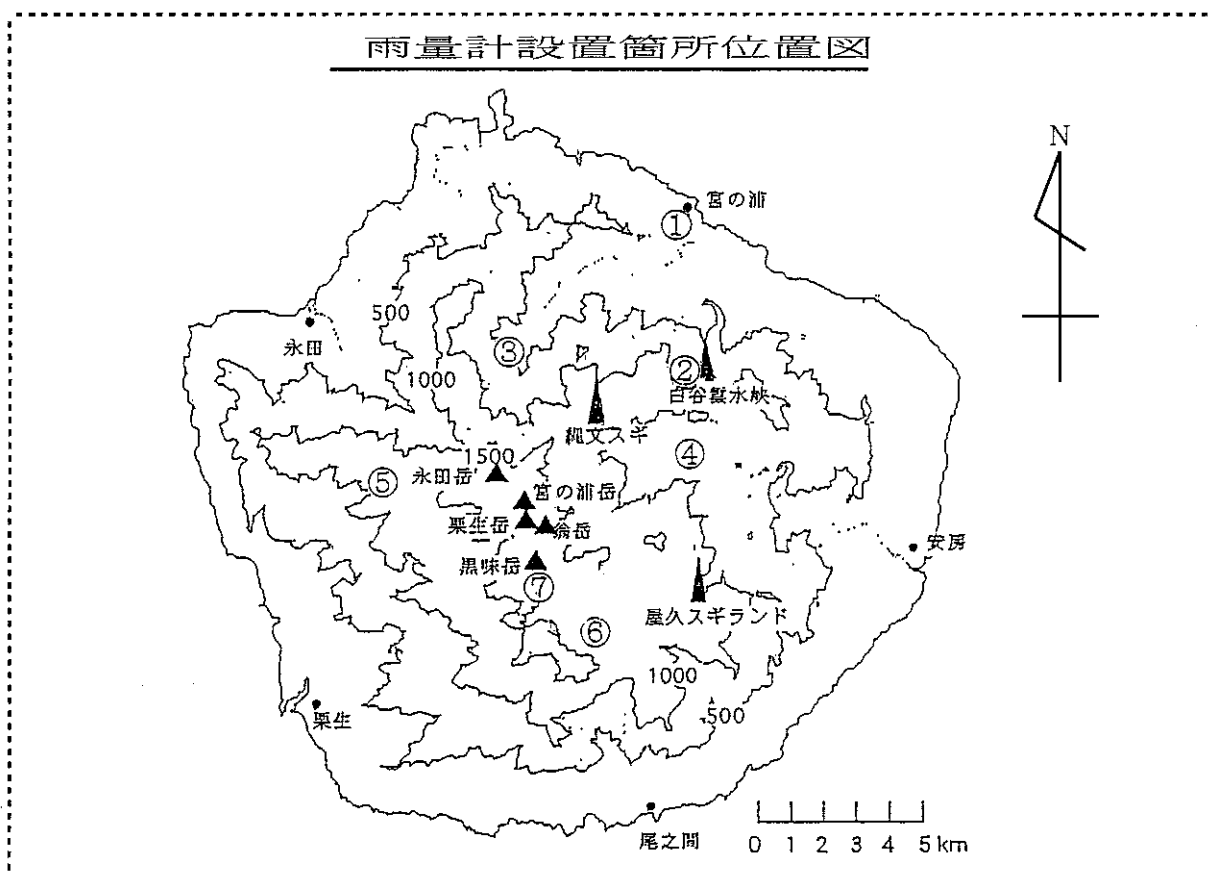
屋久島では、年間4000～8000mmに達する降雨があること、花崗岩特有の表層の浅い地域が多いこと等から、山腹崩壊、土砂流出等の山地災害も多く発生している。

これらのことから、国有林の要所において雨量等の森林気象を観測し、永続的なデータを保存することにより貴重な森林の保全と山地災害防止に資することを目的に雨量計を設置している。

(2) 管理

データの回収・記録管理は屋久島森林環境保全センターで行っている。データ回収については、職員実行で2ヶ月に1回程度行っているが、台風等のいちじるしい気象の変化があった場合はその都度データの回収を行うことにしている。

(3) 雨量計設置箇所位置図



(4) 雨量計設置箇所一覧表

番号	設置箇所	林小班	標高	備考
①	屋久島森林環境保全センター	敷地内	20m	H7.08.31 設置
②	白谷雲水峡入口	216た	580m	H7.08.31, H9.11.11 設置
③	宮之浦林道33支線	233ふ	510m	H8.03.26 設置
④	小杉谷事業所跡	101イ	680m	H8.02.07 設置 融雪器付
⑤	大川林道	9る	1,020m	H8.02.01 設置 "
⑥	淀川登山口	62い	1,380m	H7.12.25 設置 "
⑦	黒味岳頂上付近	22ニ	1,800m	H8.05.31 設置 "

※②については、平成7年8月31日～平成9年9月まで216ぬ5林小班(標高560m)に設置していたものである。

(5) 平成10年度 月別・地点別雨量観測データ一覧表

月\観測点	センター	白 谷	宮之浦	小杉谷	大川林道	淀川入口	黒味岳
H10 . 4月	447.5	681.0	672.0	859.5	814.0	1197.0	791.5
5月	488.5	696.5	680.0	882.0	775.5	1200.0	822.0
6月	792.5	1088.5	1281.5	1362.5	1523.5	2076.0	1374.0
7月	337.0	427.0	464.5	522.0	706.5	14.0	600.0
8月	121.5	88.5	100.0	74.0	344.5	192.5	234.5
9月	341.5	468.0	560.5	574.5	539.0	562.0	—
10月	513.0	1071.0	699.0	1112.0	459.5	856.5	443.5
11月	195.5	692.5	202.5	350.5	135.0	273.5	176.0
12月	74.5	86.5	64.5	41.0	30.5	24.0	29.0
H11 . 1月	115.0	196.5	193.5	194.5	173.5	183.0	101.0
2月	170.5	333.5	318.5	353.5	312.0	420.0	207.0
3月	789.5	1368.0	782.0	1701.0	655.0	1893.5	799.5
合 計	4386.5	7167.5	6018.5	8027.0	6468.5	8892.0	5578.0

- ※ 1 印箇所は、1,000mm/1月以上の降雨観測月である。
 2 印箇所は、欠測により正確なデータではない。欠測は、次のとおり。

観 測 点	欠 測 期 間
淀川観測点	平成10年 7月15日～平成10年 8月 6日
黒味岳観測点	平成10年 9月 1日～平成10年10月 2日

Ⅲ 普及教育・森林空間利用

1 森林教室等の実施

名 称	チャレンジ・ザ・縄文杉	実施年月日	平成10年 7月30日 (木)
場 所	荒川ダム, 小杉谷, ウィルソン株, 縄文杉 (保全センター対応は縄文杉周辺のみ)		
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・世界自然遺産条約に登録された屋久島の豊かな自然の中で活動することにより, 屋久島への理解を深め, 屋久島を愛する児童・生徒を育成する。 ・集団行動を通して, 規律, 奉仕, 友情等の精神や連帯感を育てるとともに, 体力と強い精神力を身につける。 ・屋久杉を中心とする原生林等の自然に触れることにより, 自然と人間との共生の在り方について考える。 		
主 催 者 等	上屋久町教育委員会 教育長 牧 市助		
対 象 者	上屋久町内小学5年生～中学2年生 (定員50名)		
講 師	百田専門官, 山本専門官, 井上森林官		

名 称	東洋工学専門学校建築エコロジー科屋久島実習	実施年月日	平成10年10月 8日 (木)
場 所	保全センター, 白谷雲水峡		
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・林野庁が実施している環境保全活動や自然休養林の施設整備と白谷雲水峡の樹種の特徴等を学習する中で, 「屋久島の原生的自然環境と人間の利用」について考える。 		
主 催 者 等	学校法人東京環境工科学園 東洋工学専門学校 校長 佐藤大七郎		
対 象 者	東洋工学専門学校建築エコロジー科 (36名)		
講 師	井手所長, 百田専門官, 山本専門官		

名 称	屋久町森林教室	実施年月日	平成10年10月13日 (火)
場 所	ヤクスギランド		
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな屋久島の森林や大自然の事象に直接触れ, 一人一人が自然を身近なものとしてとらえ, 自然の営みを知り, 自然から直接学びとる学習の場とする。 ・自然 (屋久島) を愛する心を育て, 自然環境を大切に, 現実生活における自然や環境をより美しくするため, 優しく能動的に働きかけることができるようにする。 		
主 催 者 等	屋久町教育委員会 教育長		
対 象 者	屋久町内 小学5年生 (76名)		
講 師	環境庁田村管理官, 井手所長等		

名 称	平成10年度 上屋久町ふるさと森林教室	実施年月日	平成10年11月14日 (土)
場 所	白谷雲水峡, 白谷小屋		
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の自然についての理解を深め, 郷土を愛し, 郷土の自然を守り育てる態度を育てるとともに, 自然の有効な活用の仕方についての理解を深める。 ・散策活動, 団体活動をとおして体力, 忍耐力を養い, 連帯感を育てるとともに, 公衆道徳を身につけさせる。 		
主 催 者 等	上屋久町教育委員会 教育長 牧 市助		
対 象 者	上屋久町内の小学4, 5年生 (希望者37名)		
講 師	センター職員等 (甲斐調整官, 井手所長, 山本専門官, 藤田専門官, 下村主任官, 米丸森林官)		

名 称	上屋久町立 宮浦小学校3年生 森林教室	実施年月日	平成10年12月17日 (木)
場 所	保全センター		
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の働き, 山の仕事 (植付～伐採まで), 世界自然遺産の保全活動 (環境問題, 自然との関わり) について学習する。 		
主 催 者 等	宮浦小学校3年生教諭		
対 象 者	宮浦小学校3年生44名		
講 師	甲斐調整官		

名 称	上屋久町立 一湊中学校 1・2年生 体験学習	実施年月日 平成11年 3月 8日 (土)
場 所	上屋久町一湊国有林「屋久サバの森」(一湊漁民の森)	
ね ら い	・自分たちの身近にある漁民の森「屋久サバの森」の造成に参加しての植樹体験と、山で作業をする人々との交流を通して、森と海とのつながりや森林の大切さ、林業の役割について学習する。	
主 催 者 等	主催：熊毛支庁農林水産課・上屋久町農林水産課・屋久島森林環境保全センター (植樹指導：屋久島森林組合職員)	
対 象 者	一湊中学校 1, 2年生 46名, 教職員 6名	
講 師	井手所長	

名 称	上屋久町立 一湊小学校 5年生 森林教室 (社会科)	実施年月日 平成11年 3月10日 (水)
場 所	上屋久町一湊小学校 5年生教室	
ね ら い	・社会科学習『森林の働き』 森林の環境と山で働く人の様子について、実際に仕事に携わっている森林管理署職員から話を聴き、森林の大切さ、林業の役割等について理解を深める。	
主 催 者 等	一湊小学校 5年生教諭	
対 象 者	一湊小学校 5年生 11名, 教諭 1名	
講 師	井手所長, 山本専門官	

2 屋久島自然休養林

(1) 森林環境整備推進協力金の実施

森林及び利用施設の整備や環境美化等を行うため、協力金制度を導入している。

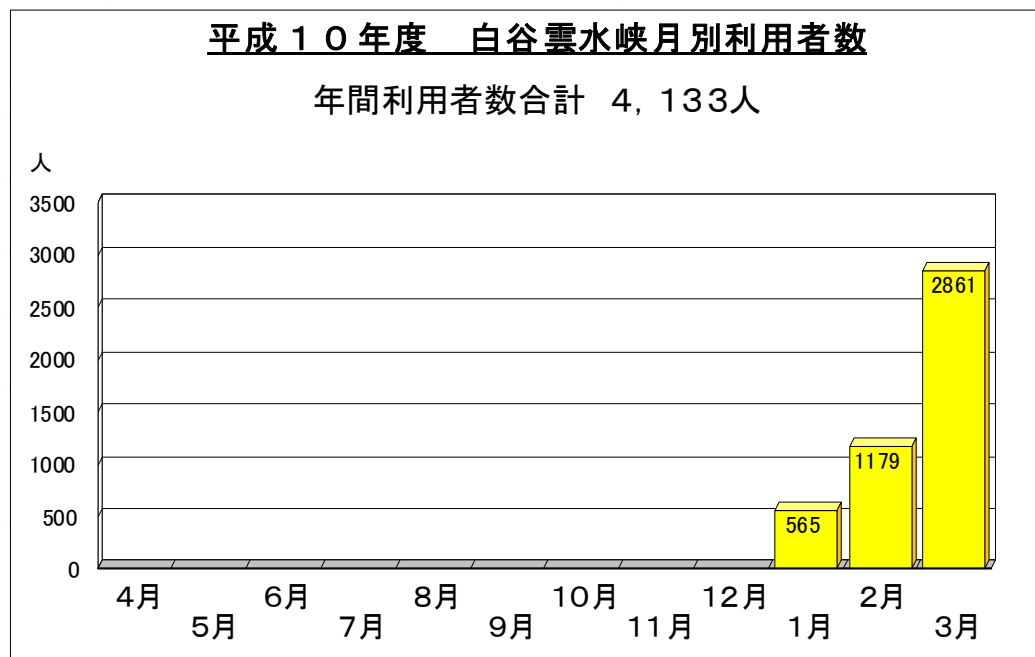
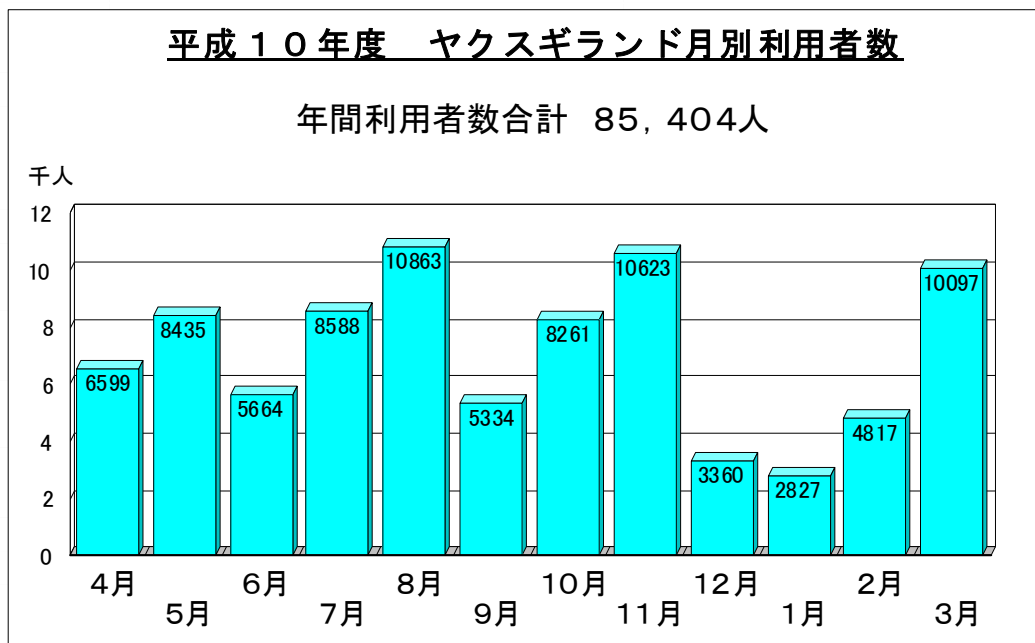
委託契約相手方 ヤクスギランド「ヤクスギランドを美しくする会」

白谷雲水峡 「大自然緑の会」

金額 高校生以上 1人 300円

平成10年度協力金合計 27,092,867円

(2) 利用者数



※ 4～12月は、アクセス道路が通行止めであったため利用者数は把握していない。

(3) 利用者の県別頻度

☆ ヤクスギランド

1年間(365日)の内、県別に入林を記録した日を集計したものである。

県	入林を記録した日
鹿児島	314
東京	277
大阪	253
神奈川	248
福岡	193
愛知	185
宮崎	170
兵庫	154
熊本	150
埼玉	142
千葉	125
京都	115
広島	111
静岡	97
北海道	80
岡山	77
長野	73
山口	71
大分	67
茨城	63
長崎	60
奈良	59
三重	53
岐阜	53
沖縄	48
群馬	45
宮城	40
愛媛	38
滋賀	37
石川	33
栃木	33
海外	32
新潟	31
福島	30
和歌山	29
佐賀	28
徳島	26
高知	25
福井	23
香川	22
岩手	19
山形	18
青森	18
島根	17
鳥取	16
山梨	13
富山	8
秋田	0

☆ 白谷雲水峡

県別入林者数(平成11年/1~3月)

県	入林者数
東京	868
大阪	415
鹿児島	397
神奈川	259
福岡	218
宮崎	174
兵庫	140
埼玉	136
千葉	130
愛知	120
広島	100
京都	98
愛媛	95
岡山	62
熊本	59
栃木	54
茨城	52
長野	51
新潟	51
静岡	47
山口	45
沖縄	43
滋賀	43
佐賀	39
海外	39
長崎	37
北海道	31
岐阜	29
大分	29
奈良	29
山形	27
香川	26
群馬	25
宮城	23
石川	18
鳥取	18
福島	17
三重	15
和歌山	14
山梨	11
島根	9
徳島	9
福井	9
高知	7
岩手	6
富山	5
秋田	3
青森	1
島内	471

3 広報活動

(1) 保全センター所報「洋上アルプス」の作成

ア 作成の主旨

保全センター業務の紹介や活動報告、屋久島の雨量観測データなどの情報を提供することにより、地元地域や関係機関との密接な連携を図る。また、屋久島の生態、森林の役割、自然と人との共生のあり方などに関する普及啓発を行うとともに、屋久島世界自然遺産地域内での保全活動を紹介し、広く一般の理解と協力を深めるために作成。

イ 発行日

毎月5日に発行、1回の発行部数 約950部。

(2) 年報の作成

ア 作成の主旨

保全センター業務や活動内容、島内での学術調査研究機関（者）の入林状況等をまとめ、地元地域や関係機関の理解と協力を深めるとともに、屋久島世界自然遺産地域及び屋久島森林生態系保護地域等での保全活動を連携強化するための一助とするために作成。

もり

(3) セルフガイドブック「屋久島の森林」の販売

ア 作成の主旨

屋久島の歴史、自然、主要登山道等を紹介し、屋久島の森林に関する教育、啓発活動を行うため作成。

イ 販売

平成8年6月7日から販売開始。（規格：B6判オールカラー印刷、87頁。一冊1,000円）

ウ 販売場所

屋久島森林管理署、屋久島森林環境保全センター、ヤクスギランド、白谷雲水峡、屋久杉自然館等

エ 平成10年度販売部数

705冊

(4) 杉の名前募集

ア 募集の主旨

白谷雲水峡の原生林歩道沿いには、奉行杉や三本足杉等の著名杉も見ることができ、屋久島特有の自然を充分満喫できますが、まだまだ見逃せないところも多く、貴重な自然が残る原生林歩道を多くの人に堪能していただくために募集。

イ 募集の結果

147名、239件の応募があり、平成11年6月2日に白谷雲水峡保護管理協議会で審査し、屋久町尾之間の岳南中教諭 脇田武志さんの『びびんこ杉』に決定した。

(5) ホームページで保全センターを紹介

熊本営林局（現在 九州森林管理局）のホームページに保全センターの紹介を追加した。

ア 主旨

「保全センター設置の目的」「組織図」「主な業務内容」「業務計画及び実績」等を写真入りで紹介し、屋久島世界自然遺産地域内での保全活動状況を広く一般の理解と協力を得るため。

イ アドレス

<http://www.infoberars.or.jp/rinkuma/>

IV その他の事業

1 森林パトロールの実施

(1) ゴールデンウィーク期間中（監視指導）

実施日 天候	場所	登山者数	結 果 (監視指導の内容・登山者の動向・感想等)
10. 4. 26(日) 晴れ	縄文杉周辺	1 4 9名	・展望デッキに利用区分の展望(黄色)・休息(白色)・及び順路(白色)をペンキで表示し、通路確保に協力を求めた。
10. 4. 28(火) 雨	縄文杉周辺	9 9名	・昼食時は、東屋と高塚小屋を利用するように指導したた、混雑しなかった。
10. 4. 30(木) 雨	縄文杉周辺	2 1 2名	・デッキの手すりの上で写真を撮っている人に注意する。 ・雨が降っており、デッキの下に入り込もうとしている人がいたので東屋を教え利用してもらった。 ・全体的にマナーは良くなってきた。
10. 5. 2(土) 雨	縄文杉周辺	1 5 9名	・雨が降っており、デッキの下に入り込もうとしている人がいたので注意した。

(2) 夏休み期間中（監視指導）

実施日 天候	場所	登山者数	結 果 (監視指導の内容・登山者の動向・感想等)
10. 7. 24(金) 雨	縄文杉周辺	8 7名	・特にありません。
10. 7. 30(木) 晴れ	縄文杉周辺	1 6 7名	・デッキの下に、ゴミがかなり落ちていたので拾った。 ・登山ガイドの方に、展望デッキの利用について登山者が多い時は、誘導してもらおうと言ったところ、ガイドに頼むのであれば正式文書で依頼するように言われた。その後、主旨を説明し協力を求めたところ理解は得られた。
10. 8. 5(水) 晴れ	縄文杉周辺	1 3 9名	・デッキの展望区域に入って休む人がいたので、注意して移動してもらった。
10. 8. 11(火) 晴れ	縄文杉周辺	3 0 1名	・デッキで、火を炊く人がいたので注意しやめてもらう。 ・今日の登山者は、早い時間帯に多かった。若い人が多かったためだろうか。
10. 8. 19(水) 晴れ	縄文杉周辺	1 7 0名	・14時過ぎに到着した日帰り登山者がいた。 ・通路に休息する者がいたため、歩行者の支障にならないよう注意した。 ・縄文杉の説明版を写真撮影箇所近くに移動して欲しいとの要望があった。
10. 8. 26(水) 晴れ	縄文杉周辺	1 9 6名	・縄文杉に登ってきた人だけに、記念に貰えるようなキーホルダーやスタンプ等があれば良いと言う要望があった。

(3) その他の期間

実施日 天候	場所	結 果 (監視指導の内容・登山者の動向・感想等)
10. 4. 9(木) 雨	宮之浦登山 歩道	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に歩道が荒れている。 ・歩道沿いにゴミはないが、少し奥に入った茂みの中及び小屋周辺等はゴミの不法投棄有り。 ・ゴミの不法投棄防止用の看板が必要なのではないか。 ・花之江河周辺は、看板が多すぎる。 ・既存の看板で同じ物が2枚(黒味分岐の案内板)あったり、距離が違ったりしているもの(投石付近の案内板)があった。
10. 4. 9(木) 雨	白谷雲水峡 楠川歩道 大株歩道 縄文杉周辺 旧高塚小屋 白谷20支線	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天であったため、木道は滑りやすく注意が必要。 ・展望デッキ利用区分のテープが剥がれており、GW前にペンキ表示が必要。 ・大株歩道は相変わらず荒廃の著しい所がある。 ・楠川歩道は部分的に土砂の流失が見られるものの、全体的には原形を維持しているようである。 ・ゴミについては、登山道周辺は少ないものの展望デッキ下と旧高塚小屋周辺に目立った。
10. 4. 22(水) 曇り	白谷20支線 縄文杉周辺 大株歩道 森林軌道 荒川口	<ul style="list-style-type: none"> ・大株歩道(縄文杉から50m下方)にヒメシヤラの枯損木が歩行の支障になっており、早急に除去の必要有り。 ・森林軌道の橋及び枕木等について点検したが、若干の腐植は認められるが、特に問題はないと思われる。
10. 7. 9(木) 曇り	愛子岳登山 道	<ul style="list-style-type: none"> ・登山ルートの確認及び登山道の現況把握を行う。 ・風倒木や雑灌木の繁茂している箇所が若干あるが、歩行には支障なし。 ・登山道は最初から最後まで(標高差1,000m)登りが続き、かなりハードである。 ・迷いそうな箇所には、ピンク等のテープを表示してある。
10. 9. 8(火) 曇り	モッコヨム 岳登山道	<ul style="list-style-type: none"> ・著名杉の確認・写真撮影及び登山道の確認を行う。 ・風倒木や雑灌木の繁茂している箇所が若干あるが、歩行には支障なし。 ・登山道は頻繁に利用した跡が見受けられ、ピンクテープ等が要所毎に有り道に迷うことはない模様。 ・登山口から40分くらいは急な登り、山頂付近は平坦ではあるが、岩盤であり歩きにくく要注意。
10. 9. 10(木) 晴れ	白谷20支線 縄文杉周辺 大株歩道 森林軌道 荒川口	<ul style="list-style-type: none"> ・登山道については、特に異常なし。 ・展望デッキについては、通路部分の床板が軋んでいた。利用者の安全確保及び老朽化を防ぐために定期的なメンテナンスが必要。
10. 12. 17(木) 晴れ	淀川登山口 宮之浦岳 高塚小屋 白谷20支線	<ul style="list-style-type: none"> ・宮之浦岳山頂付近の登山道はササに覆われ足元が確認しづらいため、刈り払う必要有り。 ・登山道に設置されている土留めの木柵が倒れたり、傾いたりしており、つまずく恐れがあるので、設置をやり直すか撤去する必要有り。 ・宮之浦岳から高塚小屋への目印が少ないように感じた。
11. 3. 11(木) 雨	荒川口 森林軌道 大株歩道 縄文杉周辺 白谷20支線	<ul style="list-style-type: none"> ・広島検察庁司法修習生の清掃登山を兼ねての森林パトロールである。 ・登山道周辺にはゴミはあまりなかった。 ・前日からの雨のため、森林軌道は水たまり状態、大株歩道もぬかるみ状態であった。 ・朝方の降雪で、ウイルソン株の上付近から積雪があり、縄文杉周辺では3～5cmであった。

2 資料室の整備

(1) 保全センター保有図書一覧表

番号	誌名	著者(編集者)
1	7000年の記憶 屋久島 (世界遺産条約自然遺産登録記念出版写真集)	
2	Pollnaton Systems in a Warm Temperate Evergreen Broad-leaved Forest on Yaku Island.	
3	Pollnaton Systems in the Cool Temperate Mixed Coniferous and Broad-leaved Zone of Yakushima Island.	
4	Pseudosasa Owatarii as a Forage for Sika Deer on Yakushima Island. (ヤクシカの食物としてのヤクシマダケ)	高槻成紀
5	Stand Dynamics in a Primary Warm Temperate RainForest Analyzed by the Diffusion Equation.	
6	Summer Dietary Compositions of Sika Deer on Yakushima Island Southern Japan.	
7	愛知県内のニホンザルの現状 (指定鳥獣保護調査報告書) 平成6年3月	
8	亜熱帯地域の奄美群島、種子島、屋久島の林業と林政の方向 (I)	篠原武夫
9	亜熱帯地域の奄美群島、種子島、屋久島の林業と林政の方向 (II)	篠原武夫
10	委託林台帳 (大正14年調整)	上屋久営林署
11	委託林台帳 (昭和7年8月設定)	上屋久営林署
12	委託林台帳	上屋久営林署
13	委託林期間更新に関する書類 (自:昭和22年8月 至:昭和27年7月)	上屋久営林署
14	委託林台帳 (昭和12年8月起)	上屋久営林署
15	委託林台帳 (昭和15年5月起)	上屋久営林署
16	大隅諸島、屋久島の陸生脊椎動物相について	森田忠義 (鹿児島中央高校生物科)
17	開墾適地実測図 (大正12年)	上屋久営林署
18	鹿児島県屋久島におけるシカ被害の現状	末吉政秋
19	鹿児島大学農学部附属高隈演習林気象報告 (1990年~1991年)	地頭蘭隆, 下川悦郎, 馬場英隆
20	鹿児島大学農学部附属高隈演習林気象報告 (1992年~1993年)	地頭蘭隆, 下川悦郎, 馬場英隆
21	鹿児島大林区屋久島小林区屋久島北事業区森林調査簿 (大正12年3月)	
22	上屋久経営区経営基本案昭和26年第四次編成	吉田担当区事務所
23	上屋久経営区第4次経営案説明書 (昭和26年度) 調査	熊本営林局 上屋久営林署
24	上屋久経営区経営基案 (昭和26年第四次編成)	永田担当区事務所
25	上屋久経営区経営基案 (昭和26年第四次編成)	吉田担当区事務所
26	上屋久経営区森林調査簿 (昭和26年第四次編成)	永田担当区事務所
27	上屋久経営区森林調査簿 (昭和26年第四次編成)	吉田担当区事務所 (吉田地区)
28	上屋久経営区森林調査簿 (昭和26年第四次編成)	吉田担当区事務所 (永田地区)
29	上屋久経営区森林調査簿 (自:28年度 至:37年度)	昭和26年度第四次編成
30	上屋久公有林野官行造林地森林調査簿施行基案 (昭和32年度~昭和41年度)	昭和30年度第2次編成
31	上屋久町の埋蔵文化財 (遺跡分布調査報告書)	上屋久町教育委員会 鹿大法学部
32	上屋久町の民俗	上屋久町教育委員会 鹿大法学部
33	管内看板 林道被害一漢部内登山の一部管内概要参考	
34	希少森林植物の生存環境の解明およびジーンダイバシティーの評価と保全法の確立	研究代表者 斉藤明
35	旧財産台帳	
36	口良部島のエラブオオコウモリ	上屋久町教育委員会
37	熊本郡上屋久村処分調査図写 (昭和12年)	
38	熊本国有林の地域別森林計画書(H4.4.1~H13.3.31)(熊本森林計画区)	熊本営林局
39	熊本営林局署退職者名簿 (昭和42年1月1日現在)	林野弘済会 熊本支部
40	くまもと自然休養林参考写真集	
41	経営基案	
42	経営計画一覧表 (昭和39年11月1日現在)	熊本営林局 計画課
43	経営方針書作成の手引き (昭和43年5月)	熊本営林局 企画室
44	公有林野官公造林案説明書 (上屋久施業区)	上屋久営林署
45	公有林野官行造林台帳	
46	国有林野における森林レクリエーションの現状 (屋久杉ランド利用者の意向)	馬場裕典
47	災害写真集	
48	最近の南西諸島の林業 (上) (奄美群島、種子島、屋久島)	篠原武夫
49	最近の南西諸島の林業 (下) (奄美群島、種子島、屋久島)	篠原武夫
50	作業道新設箇所 (共用林18林班関係)	

番号	誌名	著者(編集者)
5 1	四季を通ずる降水量の配布状態がスギ、ヒノキに及ぼす影響(1940)	河田杰
5 2	自然休養林 白谷雲水峡	
5 3	司法事務関係書類綴り(署長用)	
5 4	・伐及び造林照査簿調整様式	上屋久営林署
5 5	・伐照査簿(甲)(自:昭和18年度 至:昭和27年度)	
5 6	昭和11年官吏ノ進退賞罰ニ関スル書類	上屋久営林署
5 7	昭和13年施業沿革史	上屋久営林署
5 8	昭和14年準例規	上屋久営林署
5 9	昭和15年屋久島北東南事業区施業案説明書	鹿児島大林区署
6 0	昭和16年度屋久島東南北事業区施業案説明書	熊本営林局
6 1	昭和16年度屋久島東南北事業区施業方針書	熊本営林局
6 2	昭和18年度施業沿革史	上屋久営林署
6 3	昭和25年度調整造林地沿革調査カード	上屋久営林署
6 4	昭和26年度調査第四次経営案説明書	上屋久営林署
6 5	昭和26年度調査第四次経営案方針書(現地審議会用)	上屋久営林署
6 6	昭和26年度不要存地台帳	上屋久営林署
6 7	昭和29年度計画に関する書類	上屋久営林署
6 8	昭和2年機号例規	屋久島小林区署
6 9	昭和30年度第2次編成, 施業計画説明書(公有林野官行造林地)(32~41)	熊本営林局上屋久営林署
7 0	昭和33年営林署並びに担当区登録簿	上屋久営林署
7 1	昭和39年度経営案に関する書類	経営課
7 2	昭和41年度経営計画に関する書類	上屋久営林署
7 3	昭和42年度経営計画に関する文書	上屋久営林署
7 4	昭和43年度経営計画に関する文書	上屋久営林署
7 5	昭和45年度経営計画に関する文書	上屋久営林署
7 6	昭和45年度経営方針書(昭和45年4月)	上屋久営林署
7 7	昭和46年度経営計画に関する文書	上屋久営林署
7 8	昭和46年度経営方針書(昭和46年4月)	上屋久営林署
7 9	昭和47年度第2次地域施業計画5ヶ年計画	上屋久営林署(取扱注意)
8 0	昭和47年度地域施業計画の樹立および変更に関する文書	上屋久営林署
8 1	昭和48年度造林請負関係検査写真集	
8 2	昭和49年度製品生産事業写真帳	
8 3	昭和49年度造林事業請負検査	
8 4	昭和50年度以降要除伐林分写真	
8 5	昭和51年度地域施業に関する文書	上屋久営林署
8 6	昭和55年度地域施業の樹立及び変更に関する文書	上屋久営林署
8 7	昭和57年度地域施業計画に関する書類	上屋久営林署
8 8	昭和7年度以降年期貨付台帳	楠川担当区
8 9	植物学雑誌(THE BOTANICAL MAGAZINE, TOKYO)	前川文夫
9 0	植物の宝庫・屋久島を守れ	
9 1	白谷雲水峡	
8 2	白谷外	
9 3	資料(昭和34年10月)	林野庁林政部 職員課
9 4	森林開発と自然保護(屋久島国有林を中心として)	青木尊重
9 5	森林施業と自然保護(第23回森林経理研究会シンポジウム)	森林土木連合協会
9 6	森林土木写真集	
9 7	世界遺産屋久島	日下田紀三
9 8	世界遺産条約, その概要と平成4年の我が国の「世界遺産一覧表」への推薦候補地について	内田敏博
9 9	全国森林資源調査の実施について	36熊経第2417号外
1 0 0	高隈演習林における雨量観測記録	地頭箇隆, 下川悦郎, 馬田英隆
1 0 1	第1次地域施行計画伐採造林計画簿(自:45.4.1 至:52.3.31)	上屋久営林署
1 0 2	第27回太陽国体山岳競技大会参考写真集	
1 0 3	第2次経営計画森林調査簿(自:昭和37年4月 至:昭和42年3月)	永田担当区事務所
1 0 4	第2次経営計画森林調査簿(自:昭和37.4.1 至:昭和42.3.31)	
1 0 5	第2次経営計画伐採造林計画簿(自:昭和37年4月 至:42年3月)	永田担当区

番号	誌名	著者(編集者)
106	第3次経営計画伐採造林計画簿(自:42.4.1至:47.3.31)	上屋久営林署
107	第3次地域施業計画書(案)(昭和52.4.1~昭和62.3.31)	
108	第四次地域施行計画・陳情書	上屋久営林署
109	第5次地域施業計画樹立に関する書類綴り	上屋久営林署
110	地域施業計画の一斉変更について	63熊計第102号外
111	直営団地27, 28, 29, 31, 32, 33林班の林相写真	
112	特定鳥類等調査(屋久島)	環境庁鳥類保護課
113	南西島経営計画区第1次経営計画書(33~36年)	上屋久営林署
114	南西島経営計画区上屋久事業区森林調査簿(自:昭和33年度至:昭和36年度)	
115	南西島経営計画区上屋久事業区森林調査簿	永田担当区事務所
116	南西島経営計画区事業計画簿(自:昭和33年度至:昭和36年度)	
117	南西島経営計画区第3次経営計画森林調査簿(自:42.4.1至:47.3.31)	
118	南西島経営計画区第1次経営計画書(基本事項)(自:33.年度至:36年度)	熊本営林局 計画課
119	南西島経営計画区第2次経営計画編成方針書(自:37.4.1至:42.3.31)	熊本営林局 計画課
120	南西島経営計画区第2次経営計画書(自:37.4.1至:42.3.31)	熊本営林局 計画課
121	南西島経営計画区第3次経営計画書(自:42.4.1至:47.3.31)	熊本営林局 計画課
122	南西島経営計画区第1次地域施業計画書(45.4.1~52.3.31)	熊本営林局
123	南西島経営計画区第2次地域施業計画第1次変更計画書(自:47.4.1至:57.3.31)	熊本営林局 計画課
124	南西島地域施業計画区第3次地域施業計画の事業別内訳書	上屋久事業区
125	南西島地域施業計画区第3次地域施業計画書(52.4.1~62.3.31)	
126	南西島地域施業計画区第4次地域施業計画書(57.4.1~67.3.31)	
127	南西島地域施業計画区第5次地域施業計画書(62.4.1~72.3.31)	
128	南西島地域施業計画区第5次地域施業計画書(62.4.1~72.3.31)第1次変更計画書	
129	日本モンキーセンター年報(昭和62年度)	
130	農林漁業などにおける問題別の調査報告書(第1集)	堤元
131	残る屋久島の常緑広葉樹林の保護を	山根銀五郎
132	のびゆく上屋久町	
133	伐採計画補助簿(33~36年度)	
134	へり集材写真外(63年度)	
135	別冊, 森林の所有する機能別の森林所在の一覧表(熊本森林計画区)	熊本営林局
136	マイクロ無線中継所及び道路新設に伴う国有林被害写真NO.1	
137	マイクロ無線中継所及び道路新設に伴う国有林被害写真NO.2	
138	松形局長来署外	
139	宮崎自然休養林, おおすみ自然休養林	
140	宮之浦事業所直営団地及永田川流域現況写真	
141	宮之浦岳登山コース内風景	
142	明治39年部分林台帳附属図面	屋久島小林区署
143	めずらしい屋久島の植物(特殊な条件下に育つ固有植物たちの姿)	迫静男
144	モンキー(屋久島特集)NO.197.198.199	幸丸政明
145	屋久島	
146	屋久島・安房林道において餌付いたサルの社会構成と繁殖状況	揚妻直樹
147	屋久島花崗岩地帯における山くずれの周期性	下川悦郎, 地頭菌隆
148	屋久島環境文化懇談会報告	鹿児島県
149	屋久島北事業区森林調査簿(昭和16年度第二次検訂)	
150	屋久島原生林をどう未来へ残すか	東滋
151	屋久島国有林の小面積伐採区におけるスギの更新成績	青木尊重(九大演)
152	屋久島産ガジュツ抽出物及び単離成分の抗潰瘍作用	渡辺和夫, 柴田昌裕, 矢野真吾, 葵陽, 渋谷博考, 北川勲
153	屋久島自然休養林(白谷地区)写真集	
154	屋久島自然保護運動の展開過程(地域開発と自然保護の間で)	藤原三夫
155	ヤクシマシヤクナゲと高山植物	
156	屋久島森林・林業総鑑(上巻)	
157	屋久島森林・林業総鑑(中巻)	
158	屋久島森林・林業総鑑(下巻)	
159	屋久島森林問題を考える	萩野敏雄
160	屋久島瀬切川流域の温帯針葉樹林の令構成と変更過程	鈴木英治, 薄田二郎

番号	誌名	著者(編集者)
161	屋久島調査報告書	運輸省第四港湾建設局
162	屋久島調査報告書	運輸省第四港湾建設局
163	屋久島で初の本格的総合学術調査	瀧口正三
164	屋久島と屋久杉	藤田晋輔
165	屋久島土面川流域の降雨特性について	陶山正憲
166	屋久島土面川における水門観測施設の設置と試験流域の地形、地質、植生	地頭箇隆、下川悦郎、前道俊一
167	屋久島土面川流域における降雨・流出特性	地頭箇隆、下川悦郎
168	屋久島永田～栗生林道調査報告書	辻本克己、大草克己
169	屋久島永田における山くずれ、土石流災害(その1)	下川悦郎、岩松暉
170	屋久島永田における山くずれ、土石流災害(その2)	下川悦郎、岩松暉
171	屋久島南事業区施業基案	
172	屋久島における択伐国材林実行の手引	
173	屋久島における山岳降水量の分布特性について	陶山正憲、竹下幸
174	屋久島における森林棲鳥類の垂直分布 1 繁殖期	江口和洋、武石全滋、永田尚志、逸見泰久、川路則友
175	屋久島における森林棲鳥類の垂直分布 2 非繁殖期	江口和洋、武石全滋、永田尚志、逸見泰久
176	屋久島におけるスギ天然林施業に関する基礎研究	吉田茂二郎、今永正明
177	屋久島におけるスギ天然林のアイソザム変異	津村義彦、大庭喜八郎
178	屋久島花崗岩、由来の土壌中の粘土鉱物組成と分布的特徴	岩佐安、山家富美子
179	屋久島の環境保全と森林施業利用体系に関する研究	迫静男、下川悦郎、地頭箇隆、藤田晋輔、吉田茂二郎
180	屋久島の概況	熊本営林局
181	屋久島の原生林を訪ねて	柳文治郎
182	屋久島の固定試験地におけるスギ天然林の構造と成長について	吉田茂二郎、今永正明
183	屋久島の固定試験地におけるスギ天然林の林分構造・動態解析	吉田茂二郎
184	屋久島の自然と植生	田川日出夫
185	屋久島の自然保護に関する討論会(写真集S49、6、15)	正宗敏敏、可合功
186	屋久島の植生調査報告(荒川流域を中心として)	今永正明、吉田茂二郎、湯之上修
187	屋久島の森林施業に関する研究(Ⅰ. スギ人工林の生育立地解析)	
188	屋久島の森林施業に関する研究(Ⅱ. 航空写真によるスギ人工林の林分構造評価)	今永正明、永田幸司
189	屋久島の森林利用と自然保護、レクリエーション	宮林茂幸
190	屋久島のスギ天然林分の林分構造について	吉田茂二郎、辻本克己(鹿大農)
191	屋久島のスギ天然林(1)林庄型と立地環境	小林繁男、加藤正樹、森貞和仁、高橋正道
192	屋久島のスギ天然林(2)林分構造と更新過程	小林繁男、加藤正樹、森貞和仁、高橋正道
193	屋久島の鳥類とその生態	小笠原、小林恒明
194	屋久島の民具	上屋久町教育委員会 鹿大法学部
195	屋久島の野生鳥獣相及び屋久犬	白井邦彦
196	屋久島の林野土壌の性質・原因及び分布に関する研究(Ⅰ)	矢木久義、森田桂行、山家富美子、河室公康、久保哲茂
197	屋久島の林野土壌の性質・原因及び分布に関する研究(Ⅱ)	山家富美子
198	屋久島の林野土壌の性質・原因及び分布に関する研究(Ⅲ)	山家富美子、久保哲茂
199	屋久島の林野土壌の性質・原因及び分布に関する研究(Ⅳ)	山家富美子、久保哲茂
200	屋久島の林野土壌の性質・原因及び分布に関する研究(Ⅴ)	三浦覚、矢木久義、久保哲茂
201	屋久島花之江河湿原周辺における森林の変遷について	竹岡政治、鳥居厚志
202	屋久島東事業区森林調査簿施業基案(昭和6年第1次検訂)	
203	屋久島東事業区収穫基案(昭和18年度～27年度)	
204	屋久島フォーラム94 in TOKYO 記念誌	
205	屋久島北事業区基本図(38～40林班)	
206	屋久島北事業区収穫基案(自:昭和18年度 至:27年度)	
207	屋久島北事業区施業基案	
208	屋久島南事業区森林調査簿(昭和16年度第二次検訂)	
209	ヤクスギの天然更新について	
210	屋久杉の組織と材質に関する研究(Ⅰ. 屋久島と屋久杉の成立)	藤田晋輔
211	やくすぎ銘木採材について	
212	屋久杉ランドにおける森林レクリエーション(Ⅰ) 利用者の意向	馬場裕典、吉良今朝芳、松下幸司
213	野生動物保護に必要な観光客に対する指導と道路管理	揚妻直樹
214	ヤマモモの豊凶年によるサルの葉食行動の変化	揚妻直樹 デビット、A. ヒル
215	わが町の郷土教育資料(上屋久町の歴史編)	上屋久町教育委員会

(2) 保全センター保有資料

番号	資 料 名	指 導 者 (機 関) 名 等
1	モニタリング調査 (入り込み調査) データ	鹿児島大学森林政策学研究室 枚田邦宏教授
2	生態系モニタリングプロットデータ	林野庁森林総合研究所
3	雨量データ	保全センター観測
4	水質調査データ	林野庁森林総合研究所九州支所
5	写真パネル (モノクロ40枚, カラー11枚) (昔の伐倒・集運材風景, 小杉谷集落風景, 著名木等)	熊本営林局, 西日本新聞社寄贈
6	フोट写真 (カラー: 木製額縁40枚, アルミ額縁50枚) (著名木, 代表的な植物, 山岳部の風景等)	保全センター撮影
7	図書 (詳細は図書一覧表及び報告書リストのとおり)	

3 学術調査等の入林状況

平成10年度

植物

目的	代表者	所属	地域	備考
照葉樹稚樹の伸長パターンの調査	竹中明夫	国立環境科学研究所	4林班	
屋久島の天然林の純一次生産量推定に関する植生調査	相場慎一郎	鹿児島大学理学部	2, 204, (78, 81)林班	
生態学の研究	野間直彦	滋賀県立大学	1~4林班	
半山周辺の原生林における植生調査	朱宮丈晴	千葉大学理学部生態学教室	2林班	
きのご類の観察、採集	村上康明	大分県きのご研究指導センター	白谷雲水峡 ヤクスギランド	
植物群集の構造と動態の研究	野間直彦	滋賀県立大学環境科学部	2林班	
ヤクサギヨウの球果生産量、マツノサヘンチュウによる枯死の確認、個体群動態	齋藤明	九州大学農学部林学科林業第三講座	47, 48, 66林班	
植生調査	相場慎一郎	鹿児島大学理学部	16, 24林班	
〃 (原生自然環境保全地域調査の継続調査)	〃	〃	5, 20, 21林班	
特定植物群落調査	東田隆	(株) 新和技術コンサルタント	3, 4, 10, 16, 18, 22, 93, 204林班	
ヤクサギヨウの遺伝変異解析のための針葉採取、マツノサヘンチュウによる枯死の確認 個体群動態	齋藤明	九州大学農学部林学科林学第三講座	47, 48, 66林班	
「樹木・木材のデータベース」作成のための写真及び資料標本の収集	山住一郎	大阪府教育センター	53, 75林班	
照葉樹林林床の稚樹の伸長成長の調査	竹中明夫	国立環境研究所	4林班	
フェノロジー及び実生の追跡調査等	大沢雅彦	千葉大学理学部生態学研究室	2林班	
環境要因が植物群落に与える影響の調査	中田望	早稲田大学教育学部生物学教室	2林班	
屋久杉の形態及び遺伝的研究のため	佐橋紀男	東邦大学薬学部生物学教室	63, 80~81林班	

動物

目的	代表者	所属	地域	備考
ヤクサギ, ヤクサギ, コウモリ類の生態調査	揚妻直樹	秋田経済法科大学経済学部	西部林道, 永田歩道一円	
野生ニホンザルの社会生態学的研究 ヤクシマザルの分布調査	半谷吾郎	京都大学京都大学	1~4, 6~10林班	
西部・安房林道周辺のヤクシマザルの餌付方の調査及びヤクシマザル・ヤクサギの頭数調査	杉浦秀樹	京都大学霊長類研究所	1~4林班	
ヤクサギの生態調査	揚妻直樹	秋田経済法科大学経済学部	西部, 一湊林道 永田歩道一円	
ニホンザルによる種子散布 (フシムシによる二次散布)	丸橋珠樹	武蔵大学人文学部	1~4林班	
野生ヤクシマザルの社会生態学的研究	松原幹	京都大学霊長類研究所	1~4林班	
西部林道地域ヤクシマザルの行動調査	松村秀一	京都大学霊長類研究所	1~4林班	
ヤマビルの子息調査	山中征夫	東京大学千葉演習林	永田, 花山歩道, 大川の滝 西部林道	

その他

目的	代表者	所属	地域	備考
大気汚染 (酸性雨等) の影響調査	古賀実	熊本県立大学生生活科学部	3林班, 白谷林道~坊主岩	
酸性雨調査	永淵修	福岡県保健環境研究所	2, 3, 221, 228 230林班	
酸性雨調査	永淵修	福岡県保健環境研究所	3, 61, 97林班	
屋久島地域における大気汚染 (酸性雨等) の実態及び影響調査	古賀実	熊本県立大学生生活科学部	4, 221, 228林班	

5 報告書リスト

(平成7年3月1日～平成11年3月31日)

報 告 書 名	報告者氏名 (機関)
屋久島の林木群集構造と基質表層の安定性 (照葉樹林域における基質表層の回転と森林の更新動態 昭和63年～平成2年度科学研究費補助金(一般研究B)研究成果報告書:63-74(1991.3))	甲山隆司
東南アジアの多雨林の構造特性と再生動態 (日本を含む東アジアおよび太平洋地域における熱帯並びに亜熱帯現存植生の成立要因の地域間比較に関する予備的研究 昭和63年度鹿児島大学教育研究学内特別経費成果報告書 中野和敬編:30-38 (1990))	甲山隆司
照葉樹林と硬葉樹林 (週刊朝日百科・「植物の世界」59:13-140-13-143)	甲山隆司
Significance of architecture and allometry in saplings (<i>Functional Ecology</i> 1987:399-404)	甲山隆司
A Function Describing All-Sized Trunk Diameter Distribution in Warm-Temperate Rain Forests (<i>Bot. Mag. Tokyo</i> 101:207-212 (1988))	甲山隆司
Simulation of the Structural Development of Warm-Temperate Rain Forest Stands (<i>Annals of Botany</i> 63:625-634 (1989))	甲山隆司
Simulation Stationary Size Distribution of Trees in Rain Forests (<i>Annals of Botany</i> 68:173-180 (1991))	甲山隆司
Tree Size Structure of Stands and Each Species in Primary Warm-Temperate Rain Forests of Southern Japan (<i>Bot. Mag. Tokyo</i> 99:267-279 (1986))	甲山隆司
Density-size Dynamics of Trees Simulated by a One-sided Competition Multi-species Model of Rain Forest Stands (<i>Annals of Botany</i> 70:451-460 (1992))	甲山隆司
Size-Structured tree populations in gap-dynamic forest - the forest architecture hypothesis for the stable coexistence of species (<i>Journal of Ecology</i> 1993 81:131-143)	甲山隆司
Stand Dynamics in a Primary Warm-Temperate Rain Forest Analyzed by the Diffusion Equation (<i>Bot. Mag. Tokyo</i> 100:305-317 (1987))	甲山隆司
Size-structured multi-species model of rain forest trees (<i>Functional Ecology</i> 1992 6:206-212)	甲山隆司
Frequency Distribution of Tree Growth Rate in Natural Forest Stands (<i>Annals of Botany</i> 64:47-57 (1989))	甲山隆司, T. Hara
Dynamics of Primary and Secondary Warm-temperate Rain Forests in Yakushima Island (<i>TROPICS Vol.6(4)</i> :383-392 (1997))	甲山隆司, 相場慎一郎
Below-and above-ground allometries of shade-tolerant seedlings in a Japanese warm-temperate rain forest (<i>Functional Ecology</i> 1994 8:229-236)	甲山隆司, P. J. GRUBB
Tree species stratification in relation to allometry and demography in a warm-temperate rain forest (<i>Journal of Ecology</i> 1996 84:207-218)	相場慎一郎, 甲山隆司
The effects of a typhoon on Japanese warm temperate rainforests (<i>Ecological Research</i> 1996 11:229-247)	P. J. BELLINGHAM, 甲山隆司 相場慎一郎
熱帯山地の生態学 (生態環境研究 (ECO-HABITAT), 2(1):77-79 (1995))	大沢雅彦
湿潤アジアの垂直分布帯と山地植生テンプレート (現代生態学とその周辺. 沼田真編. 東海大学出版会. (1995))	大沢雅彦
Latitudinal comparison of altitudinal changes in forest structure, leaf-type, and species richness in humid monsoon Asia (<i>Vegetatio</i> 121:3-10 (1995))	大沢雅彦

報 告 書 名	報告者氏名 (機関)
Patterning of Subtropical/Warm-temperate Evergreen Broad-leaved Forests in East Asian Mountains with Special Reference to Shoot Phenology (TROPICS Vol. 6(4) : 317-334 (1997))	大沢雅彦, 新田郁子
Leaf dynamics and shoot phenology of eleven warm-temperate evergreen broad-leaved trees near their northern limit in central Japan (Plant Ecology 130 : 71-88 (1997))	新田郁子, 大沢雅彦
Vertical vegetation zones along 30° N latitude in humid East Asia (Vegetatio 126 : 135-149 (1996))	Jing-Yun Fang, 大沢雅彦 吉良龍夫
Zonal transition of evergreen, deciduous, and coniferous forests along the altitudinal gradient on a humid subtropical mountain, Mt. Emei, Sichuan, China (Plant Ecology 133 : 63-78 (1997))	Cindy Q. Tang, 大沢雅彦
草の液果の種子散布 (フェノロジー研究No. 24 : 7-9 (1995))	野間直彦
Rapid Shifting of Foraging Pattern by Yakushima Macaques (<i>Macaca fuscata yakui</i>) in Response to Heavy Fruiting of <i>Myrica rubra</i> (International Journal of Primatology 16 : 247-260 (1995))	揚妻直樹, 野間直彦
種子散布にみる植物との共生 (山岸哲編「鳥類生態学入門」128-142 築地書館 (1997))	野間直彦
Annual Fluctuations of Sapfruits Production and Synchronization within and inter Species in a Warm Temperate Forest on Yakushima Island (Tropics Vol. 6(4) : 441-449 (1997))	野間直彦
Fruiting phenology of animal-dispersed plants in response to winter migration of frugivores in a warm temperate forest on Yakushima Island, Japan (Ecological Research 12 : 119-129 (1997))	野間直彦, 湯本貴和
種子散布をめぐる植物と鳥類・哺乳類の共生関係 -屋久島での研究から- (霊長類研究 Primate Res. 13 : 137-147 (1997))	野間直彦
屋久島での野生のサルへの餌やり (季刊「生命の島」. 35)	杉浦秀樹
屋久島の「自然な」サルと「不自然な」サル (「なきごえ」 1996. 8)	杉浦秀樹
屋久島, 西部林道における野生ニホンザルの餌付き方の調査 -1993年と1995年の比較 (霊長類研究 Primate Res. 13 : 41-51 (1997))	杉浦秀樹, 揚妻直樹, 田中俊明 大谷達也, 松原 幹, 小林直子
屋久島の照葉樹林におけるヤクシマザル (<i>Macaca fuscata yakui</i>) による種子の捕食と散布 (1997. 3)	大谷達也
屋久島の世界遺産地域を通過する西部林道が自然環境に与える影響 (霊長類研究 Primate Res. 10 : 41-47 (1994))	揚妻直樹, 杉浦秀樹, 田中俊明
ニホンザルの発声行動における集団差 (心理学研究 第66巻 第3号 P. 176-183 (1995))	田中俊明
屋久島西部林道沿いモニタリングプロットに於けるオオバヤドリギ分布について	樹木医 宇佐美暁一
土壌断面調査票 (屋久島に分布する土壌の土壌生成分類学的基礎調査平成8・9年度調査分)	田村憲司
屋久島原生自然環境保全地域調査報告書	環境庁自然保護局 財団法人日本自然保護協会
・屋久島原生自然環境保全地域におけるスギ林の10年間の群落動態	武生雅明, 大沢雅彦, 尾崎煙雄 大塚泰弘, 吉田直哉, 本間航介 小野昌樹, 江草清和
・屋久島原生自然環境保全地域の常緑針広混交林の10年間の変化	木村勝彦
・屋久島原生照葉樹林における林木群集の10年間の動態	相場慎一郎, 明石信廣, 甲山隆司

報 告 書 名	報告者氏名 (機関)
・屋久島西部照葉樹林域の原生林と二次林の10年間の動態	甲山隆司, 相場慎一郎, 明石信廣 坂本圭児
屋久島原生自然環境保全地域調査報告書	環境庁自然保護局 財団法人日本自然保護協会
・屋久島原生自然環境保全地域の山地針葉樹林における林木群集の構造	明石信廣, 相場慎一郎, 甲山隆司
・屋久島低地におけるリーフサイズが異なる2つの常緑広葉樹林の比較	大沢雅彦, 武生雅明, 大塚俊之
・屋久島亜熱帯・暖温帯常緑広葉樹林域の放棄地における二次遷移	大塚俊之, 大沢雅彦, 武生雅明
・屋久島における維管束着生植物の垂直分布と環境要因に関する予報	江草清和, 大沢雅彦
・原生的照葉樹林群集の果実のフェノロジー	野間直彦
・屋久島の照葉樹林帯とヤクスギ林帯を構成する植物に放花するハナバチ相	湯本貴和
・屋久島原生自然環境保全地域の土壌と針葉樹3種の分布	小野昌輝, 大沢雅彦
・屋久島のスギ林内埋没土壌の花粉分析と鬼界カルデラの火砕流噴火の影響	木村勝彦, 鈴木茂
北限における常緑広葉樹林の植生・環境分化に関する研究 平成5～6年度科学研究費補助金 一般研究 (B) 研究成果報告書	研究代表者 大沢雅彦
・ Latitudinal comparison of altitudinal changes in forest structure, leaf type, and species richness in humid monsoon Asia	大沢雅彦
・ The montane cloud forest and its gradational changes in southeast Asia	大沢雅彦
・屋久島低地におけるリーフサイズが異なる2つの常緑広葉樹林の比較	大沢雅彦, 武生雅明, 大塚俊之
・屋久島の常緑広葉樹林における地形的群落の構造	朱宮丈晴, 大沢雅彦
・屋久島低地におけるリーフサイズが異なる常緑広葉樹の葉の寿命	新田郁子, 大沢雅彦, 大塚俊之 三好弘子
・リーフサイズが異なる常緑広葉樹の葉の寿命	鈴木由香理
・常緑広葉樹の開葉と落葉に着目した季節的パターン	新田郁子
・常緑広葉樹の葉の水分特性の季節変化	鈴木由香理
・屋久島亜熱帯・暖温帯常緑広葉樹林域の放棄地における二次遷移	大塚俊之, 大沢雅彦, 武生雅明
・屋久島低地部の攪乱立地に出現する先駆性樹種の特性	三好弘子, 大塚俊之, 大沢雅彦 新田郁子
屋久島における気候変動と森林系のレスポンス 平成7年度科学研究費補助金 総合研究 (A) 研究成果報告書	研究代表者 大沢雅彦 (千葉大学理学部教授)
・花崗岩節理系と表層地形動態	山本啓司
・地形に対応した常緑広葉樹林の構造と土壌特性のパターン	朱宮丈晴, 大沢雅彦
・屋久島における台風の気候学的解析	松本淳, 岡谷隆基, 江口卓
・ The effects of a typhoon on Japanese warm temperate rain forests	Bellingham, P. J., 甲山隆司 相場慎一郎
・林冠アクセスシステムの建設	寺島一郎

報 告 書 名	報告者氏名 (機関)
・林冠アクセスシステムを利用した樹冠の形成・維持機構の研究 ーその事始めー	寺島一郎, 木村恭子
屋久島における気候変動と森林系のレスポンス 平成7年度科学研究費補助金 総合研究(A) 研究成果報告書 ・照葉樹林構成種8種のシュートの形態の変異とその機能的意義 ー伸長志向のシュートと葉面展開志向のシュートー	研究代表者 大沢雅彦 (千葉大学理学部教授) 竹中明夫
・屋久島の常緑広葉樹におけるリーフサイズと葉の寿命の変化	大沢雅彦, 新田郁子
・森林群集の繁殖過程と更新動態 ー屋久島の照葉樹林の鳥散布樹種の果実数の年変動と同調性ー	新山馨, 野間直彦, 小南陽亮 佐藤保, 齊藤哲
・屋久島低地部の常緑広葉樹林地域における二次遷移	大塚俊之, 三好弘子, 大沢雅彦
・屋久島における推移行列モデルの応用	高田壯則
葉の特性に着目した常緑広葉樹の機能型と群落分化 平成7～8年度科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 研究成果報告書	研究代表者 大沢雅彦 (千葉大学理学部教授)
・常緑広葉樹の芽の類型と生態学的属性 (Bud structure and ecological traits of evergreen broad-leaved trees at their northern limit in southern and central Japan.)	大沢雅彦, 新田郁子
・Leaf dynamics and shoot phenology of eleven warm-temperate evergreen broad-leaved trees near their northern limit in central Japan.	新田郁子, 大沢雅彦
・Patterning of subtropical/warm-temperate evergreen broad-leaved forests in east Asian mountains with special reference to shoot phenology.	大沢雅彦, 新田郁子
・Distribution ranges and population structure of evergreen broad-leaved trees along altitudinal gradient on Mount Emei, Shichuan, China.	Cindy Q. Tang & 大沢雅彦
・地形に対応した常緑広葉樹林の階層構造とその形成過程 (Structural and developmental process of stratification of evergreen broad-leaved forest along topographical gradients in Yakushima, southern Japan.)	朱宮丈晴, 大沢雅彦
・亜熱帯・暖温帯常緑広葉樹林地域の放棄耕作地における初期二次遷移の地理的比較 (Latitudinal comparison of old-field successional pattern in subtropical/warm-temperate evergreen broad-leaved forest region.)	大塚俊之
ヤクシマザル垂直分布調査報告 (一九九三～一九九七年)	ヤクザル調査隊 代表者 好廣眞一
無葉緑植物タカツランの棲息場所と棲息状況 (植物分類, 地理 45(2) : 131-138 (1994))	馬田英隆, 金谷整一, 森 健
屋久島破沙岳周辺におけるヤクタネゴヨウの分布様式 (日本林学会誌 別冊 79巻 3号 : 160-163 (1997))	金谷整一, 玉泉幸一郎, 伊藤 哲 齋藤明
第41回日本生態学会大会自由式シンポジウム 溪畔域の生態的構造と機能ー森林と河川の相互作用ー (森林科学 第13号 : 60-67 (1995.2))	伊藤 哲
山地溪畔域の地表変動と攪乱体制 (河川・流域の森林動態) (日本生態学会誌 (Japanese Journal of Ecology) 45 : 323-327 (1995))	伊藤 哲
地理的限界付近に生育するスギの遺伝子構成 (CAN. J. FOR. RES. VOL. 23 : 859-863 (1993))	津村義彦, 大庭喜八郎
スギ天然林における遺伝子変異と分布集団間の分化 (Plant Species Biol. 9 : 191-199 (1994))	戸丸信弘, 津村義彦 大庭喜八郎
屋久島の天然スギ林帯の樹齡構成と更新機構 (The Botanical Magazine Tokyo 100 : 223-241 (1987))	鈴木英治, 塚原 淳
屋久島生態系モニタリング調査報告書 (平成9年3月)	熊本営林局

報 告 書 名	報告者氏名 (機関)
屋久島原生自然環境保全地域調査報告書 (1984年3月)	環境庁自然保護局
・屋久島の気候－特に降水量分布の地域性について－	江口 卓
・屋久島小楊子川流域の地質	若松 暉, 小川内 良人
・小楊子川流域の地形	磯 望
・屋久島における過去6300年間の地形の安定性の変化	相馬秀広
・屋久島原生自然環境保全地域における土壌の居留時間と屋久スギ	下川悦郎, 地頭菌 隆
・屋久島原生自然環境保全地域のシダ植物相と顕花植物相	光田重幸, 永益英敏
・屋久島の淡水産珪藻類と鼓藻類	平野 實, 光田重幸
・屋久島原生自然環境保全地域の蘚苔類	土永浩史
・屋久島原生自然環境保全地域の植生構造と動態	大沢雅彦
・屋久島西部における植生の垂直分布帯の構造	入倉清次
・小楊子川流域の照葉樹原生林における林木群集の構造	甲山隆司, 坂本圭児, 小林達明 渡辺隆一
・屋久島原生自然環境保全地域の常緑針広混交林の構造と更新過程	木村勝彦, 依田恭二
・屋久島原生自然環境保全地域におけるスギ林の構造と維持・再生機構	岡田 淳, 大沢雅彦
・スギ天然林における種組成の高度による変化と再生産構造	田川日出夫, 鈴木英二, 富士篤也 藤井宏治, 大平 裕, 薄田二郎 塩谷克典
・屋久島原生自然環境保全地域とその周辺地域におけるシカの分布	朝日 稔, 和泉 剛, 永井正身 平林孝夫, 沼口憲治, 大塚閏一
・屋久島原生自然環境保全地域のヤクザルの生態	東 滋, 大竹 勝, 山極寿一 足沢貞成, 赤座久明, 宮川猛史
・屋久島原生自然環境保全地域における鳥類	藤田 剛, 岩川 正, 大井 徹 花輪伸一
・屋久島に産する甲虫類について	中根猛彦
・屋久島のスズメバチ相	山根正気
・屋久島のアリの垂直分布を中心に－	寺山 守, 山根正気
・屋久島の虫えい形成昆虫相, とくに, タマバエ類(双翅目)による虫えいの分布	湯川淳一
・大隅諸島・屋久島の哺乳類, 爬虫類及び両生類相について	森田忠義
・屋久島原生自然環境保全地域で得られた若干の無脊椎動物	山根正気, 富山清升, 松井英司
平成8年度 屋久島における島嶼生態系の保全に関する調査研究報告書 (平成9年3月)	財団法人 自然環境研究センター
・屋久島における気象観測－1996年の気象観測とその問題点について－	江口 卓, 松本 淳

報 告 書 名	報告者氏名 (機関)
平成8年度 屋久島における島嶼生態系の保全に関する調査研究報告書 (平成9年3月)	財団法人 自然環境研究センター
・屋久島の気候の広域的な位置付け	松本 淳
・屋久島花崗岩多雨地域における降雨・流出特性	地頭菌 隆, 下川悦郎
・衛星データ等による屋久島の森林生態系分布の環境傾度分析 ー屋久島天然杉林の分布範囲の更新ー	沢田治雄, 中園悦子
・森林解析へのパターン展開法の応用 (2) 屋久島天然杉林の分布範囲の更新 (研究成果発表論文)	中園悦子, 沢田治雄
・屋久島における自然撓乱及び人為的撓乱の時系列解析	高田壮則, 柳澤篤寛
・常緑広葉樹林の動的発達構造	相場慎一郎, 甲山隆司
・屋久島におけるヘゴの生態	鈴木英治, 永野 徹
・照葉樹林の液果樹種における結実数と成長の関係	野間直彦, 新山 馨
・Annual Fluctuations of Sapfruits Production and Synchronization within and inter Species in a Warm Temperate Forest on Yakushima Island (研究成果発表論文)	野間直彦
・照葉樹林構成樹種の樹冠形成プロセスの解析	竹中明夫
・Structural variation in current-year shoots of broad-leaved evergreen tree saplings under forest canopies in warm temperate Japan (研究成果発表論文)	竹中明夫
・屋久島における希少種の生育環境としての低地常緑広葉樹林の重要性	岩川文寛
・屋久島の常緑広葉樹の葉、芽、シュート、樹型特性と森林構造との関 係に関する研究	大沢雅彦, 新田郁子
・亜熱帯・暖温帯常緑広葉樹林地域の放棄耕作地における初期二次遷移 の比較	大塚俊之, 大沢雅彦
・屋久島島民の生活領域と自然地域の接点における土地利用と植生の関 連について	日下田紀三
・生態系保全に関する自生植物の活用	大山勇作
・国立公園屋久島の系譜 (その1)	佐山 浩
・ツーリストと自然環境保全	宮川 浩
「森林衰退に係わる大気汚染物質の計測, 動態, 制御に関する研究」 (科学技術振興事業団戦略的基礎研究プロジェクト 平成8年度研究成 果報告書 平成9年6月)	研究代表者 佐久川 弘
・九州山岳地帯における大気汚染物質の挙動および森林衰退に与える影 響に関する研究	永淵 修, 古賀 実, 馬場謙三
・宝満山におけるモミ林の衰退と更新	根平邦人, 真鍋 徹, 和田秀次
・広島県における酸性雨や重金属汚染と森林衰退に関する大気環境学的 研究	福岡義隆
・広島における林内・林外・宅地の酸性雨調査について	福岡義隆, 阪井雅洋, 田中淳一
・広島県における降水中微量元素のモニタリング	竹田一彦, 丸本幸治, 藤原祺多夫
・極楽寺山および西条盆地における大気汚染物質の計測	佐久川 弘, 智和正明, 平川 剛

報 告 書 名	報告者氏名 (機関)
「森林衰退に係わる大気汚染物質の計測、動態、制御に関する研究」 (科学技術振興事業団戦略的基礎研究プロジェクト 平成8年度研究成果報告書 平成9年6月)	研究代表者 佐久川 弘
・二種のマメ科植物の成長と栄養塩獲得に対する酸性雨の影響	堀越孝雄, 里村多香美
・松枯れ被害とアカマツの発生する気体成分の関連について	桜井直樹, 中川直樹, 坪井直子
・閉鎖地形におけるアカマツ林の帯状枯死に関する気候生態学的研究	土谷彰男
・極楽寺山南北斜面におけるアカマツ若木葉上の酸性降下物質量の比較	苗村晶彦, 中根周歩, 川口優子
・マツノマダラカミキリによるクロマツ苗木摂食影響の評価	中根周歩, 戒 晃司
・極楽寺山における大気汚染によるヒサカキ葉への影響評価	川口優子, 苗村晶彦, 中根周歩 久米 篤
・大気汚染物質と酸性雨・霧の形成過程に関する研究	石坂 隆, 皆已幸也, 渡辺幸一 松本 潔,
・樹木の生理作用に及ぼす大気汚染物質の影響	手塚修文, 竹中千里, 石坂 隆 水野暁子, 西村弥重,
・乗鞍岳における大気環境と森林の状況	竹中千里
・酸性降下物による土壌の劣化の指標となる有機分子, 及びパラメーターの特定	西村弥重
・酸性霧の植物細胞膜への影響と, 植物の適応	水野暁子, 手塚修文
・丹沢大山における酸性降下物の負荷と森林への影響	井川 学, 大河内 博
屋久島における森林施業の展開過程と林相 —地理情報システムを活用した一考察— (日本林学会論文集 第108号 別刷 (1997))	野田巖, 松本光朗
1998年夏期ヤクシマザル調査報告	ヤクザル調査隊 代表者 好廣眞一
寺山自然教育研究施設におけるヤクタネゴヨウの種子散布 (鹿児島大学教育学部研究紀要 第49巻 別刷 H10.3.27発行)	金谷整一, 細山田三郎 玉泉幸一郎, 齋藤明
Matching of acoustic features during the vocal exchange of coo calls by Japanese macaques (Anim. Behav., 1998, 55, 673-687)	杉浦秀樹
ヤクタネゴヨウの遺伝資源保全研究 (林木の育種 No.188 別刷 (1998))	金指あや子, 中島清, 河原孝行
ヤマビルの生態 (IV) —個体数増加および分布地域拡大の要因— (日本林学会論文集 第104号 別刷 (1993))	山中征夫, 山根明臣, 浅田正彦
房総半島におけるニホンジカに対するヤマビルの寄生状況 (千葉中央博自然誌研究報告 3(2):217-221 (1995))	浅田正彦, 落合啓二, 山中征夫
ヤマビルの生活環 (日本林学会論文集 第108号 別刷 (1997))	山中征夫, 山根明臣
……………追加分……………	
調査報告書 地域の伝統的風習を活かした国立公園管理のあり方	霧島屋久国立公園屋久島管理官事務所
屋久島・文献等データベース (環境庁屋久島世界遺産センター編)	〃
グリーンツーリズムの立地に関する経済学的研究 (平成8年度~平成9年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書)	岩井吉彌 (研究代表者)
屋久島の中学・高校生の生活意識と「環境の島」への対応 —アンケート調査 (1996年1月) より—	寺田康久
ヤクザルの垂直分布は冬とその他の季節でどう違うか (龍谷紀要 第17巻 第1号(1995年8月)抜刷)	好廣眞一

報 告 書 名	報告者氏名 (機関)
屋久島東部ヤクスギ林帯におけるヤクシマザルの分布と糞分析による食性の調査 (霊長類研究 Primate Res. 14:189-199, 1998)	好廣眞一, 大竹勝, 座馬耕一郎, 半谷吾郎, 松原始, 谷村寧昭, 久保律子, 松嶋可奈, 早川祥子, 小島孝敏, 平野晃史, 高畑由起夫
上流域のヤクザル - 屋久島の冬 - (モキ-197・198・199)	好廣眞一
屋久島の固定試験地におけるスギ天然林の林分構造・動態解析 (平成5年度科学研究費補助金(一般研究B)研究成果報告書)	吉田茂二郎 (研究代表者)
屋久島の固定試験地におけるスギ天然林の構造と成長について (日林誌 72(2)'90)	吉田茂二郎, 今永正明
屋久島の森林施業に関する研究 (Ⅲ) - スギ天然生林に対する照査法による森林施業のための固定試験地の設定 - (97回日林論1986)	今永正明, 吉田茂二郎
屋久島におけるスギ天然林施業に関する基礎的研究 (J. Jpn. For. Soc. 73(3)'91)	今永正明, 吉田茂二郎
屋久スギ天然生林における種の平面・空間分布について (鹿大農学術報告 第35号, p.9-19, 1985)	吉田茂二郎・岸川芳久
宇宙から見た屋久島	田中總太郎
3樹種(クロマツ, ヒメコマツ, ストローブマツ)を台木として用いたときのヤクタネゴヨウのつぎ木活着率と成長量の違い (日林論109 1998)	千吉良治
K13 ヤクタネゴヨウの現地内・外における遺伝的資源保存技術に関する研究	千吉良治
屋久島実習調査報告書(平成6年度自然環境野外実習I)	平成6年度筑波大学大学院環境科学研究科屋久島実習グループ
屋久島の観光と登山に関するアンケート調査結果(中間報告)	松下幸司
屋久島・安房林道において餌付いたサル社会構成と繁殖状態野生動物保護に必要な観光客に対する指導と道路管理 (霊長類研究 Primate Res 11:1-7, 1995)	揚妻直樹
Supra-Annual Variation in the Influence of Myrica rubra Fruit on the Behavior of a Troop of Japanese Macques in Yakushima (American Journal of Primatology35:241-250(1995))	DAVID A. HILL, NAOKI AGETSUMA
The Effects of a typhoon on Japanese warm temperate rain forests.	P. J. Bellingham, T. Kohyama S. Aiba
屋久島における森林施業の展開過程と林相 - 地理情報システムを活用した一考察 - (日林論108 1997)	野田巖, 松本光朗
屋久島実習調査報告書(1996年)	東洋工学専門学校建築エコロジー科
屋久島実習調査報告書(平成7年度自然環境野外実習I)	平成7年度筑波大学大学院環境科学研究科屋久島実習グループ
希少森林植物の生存環境の解明およびジーンダイバシティの評価と保全法の確立(平成6年度科学研究費補助金(総合研究A)研究成果報告書) ・ヤツガタケトウヒの生育環境特性	齋藤明(研究代表者) 谷本丈夫, 杉田久志
・希少森林植物の生存環境の解明およびジーンダイバシティの評価と保全法の確立	栄花茂
・紀伊半島山地部におけるトガサワラの現況と保全について	内村悦三
・ヤクタネゴヨウの分布特性	金谷整一, 齋藤明, 玉泉幸一郎 伊藤哲
・屋久島破沙岳周辺におけるヤクタネゴヨウ(Pinus armandii Franch. var. amaniana Hatsushima)の実生の成立環境 - 林冠のギャップ率と実生の生育状況 -	伊藤哲, 金谷整一, 玉泉幸一郎

報 告 書 名	報告者氏名 (機関)
・ 地表変動に伴う森林群集の攪乱様式と更新機構	伊藤哲, 中村太士
・ トウヒ属植物の分類と遺伝的変異の評価	白石進, 高田克彦
・ ヤチカンバ (<i>Betula tatewakiana</i>) 冬芽の培養による植物体再生と大量増殖法の確立	井出雄二
・ サクラバハシノキ (<i>Alnus trabeculosa</i>) の組織培養による増殖の試み	井出雄二, 近藤晃

V 保全センターの関連行事

月 日	項 目	場 所	主 催 者
4. 7 (火) ～8 (水)	第2回屋久島登山道整備合同検討委員会	屋久島離島開発総合センター外	上屋久町
4.16 (水)	屋久島山岳部利用対策協議会清掃登山	淀川口～投石平 荒川口～縄文杉	屋久島山岳部利用対策協議会
4.18 (金)	屋久島山岳部利用対策協議会	屋久島環境文化村センター	屋久島山岳部利用対策協議会
4.17 (金)	荒川橋竣工式	ヤクスギランド	ヤクスギランドを美しくする会・屋久島森林管理署
4.21 (火)	山開き	白谷雲水峡	上屋久町・屋久町
5. 7 (木)	上屋久町登山道計画路線踏査	益救参道	上屋久町
5. 9 (土)	上屋久町特産品祭	屋久島環境文化村センター前広場	上屋久町
5.20 (水)	大株歩道現地検討会	大株歩道	環境庁
6. 5 (金)	荒川地区保護管理協議会	屋久町総合センター	荒川地区保護管理協議会
6.13 (土) ～14 (日)	「屋久島における島嶼生態系の保全に関する調査研究会」発表会	屋久島環境文化研修センター	環境庁
6.30 (火)	屋久島環境学習ネットワーク会議	屋久島環境文化村センター	屋久島環境文化財団
6.30 (火)	屋久島山岳部利用対策協議会	屋久島環境文化村センター	屋久島山岳部利用対策協議会
7. 8 (水)	白谷地区保護管理協議会	屋久島離島開発総合センター	白谷地区保護管理協議会
7.10 (金)	紀元杉着生木処理検討会	現地（安房林道沿線）	保全センター
7.15 (水)	紀元杉枯枝検討会	現地（安房林道沿線） 森泉	保全センター
8.11 (火)	第3回屋久島登山道整備合同検討会	益救参道	上屋久町
9. 2 (水)	世界遺産会議実行委員会設立準備会	鹿児島市	鹿児島県
10. 2 (金)	屋久島自然遺産地域連絡会議	鹿児島市	屋久島世界遺産地域連絡会議
10. 7 (水)	屋久島山岳部利用対策協議会	屋久島環境文化研修センター	屋久島山岳部利用対策協議会
10. 7 (水)	縄文杉説明会	屋久島森林管理署	保全センター
10. 8 (木)	世界遺産会議開催準備打合せ会議	屋久島環境文化村センター	鹿児島県
10.13 (火)	屋久町小学生森林教室	ヤクスギランド	屋久町
10.29 (木)	屋久島環境文化財団特別顧問会議	屋久島いわさきホテル	屋久島環境文化財団
10.30 (金)	世界遺産5周年シンポジウム	屋久島離島開発総合センター	鹿児島県
11.14 (土)	ふるさと森林教室	白谷雲水峡	上屋久町
11.30 (月) ～12.5 (土)	第22回世界遺産委員会京都会議	国立京都国際会館	世界遺産委員会京都会議 準備室

月 日	項 目	場 所	主 催 者
12. 24 (木)	荒川地区保護管理協議会	ヤクスギランド	荒川地区保護管理協議会
2. 17 (水)	第2回屋久島環境学習ネットワーク会議及び世界遺産会議打合せ	屋久島環境文化村センター	屋久島環境文化財団
2. 18 (木)	屋久島ガイド連絡協議会設立準備委員会	屋久島環境文化研修センター	屋久島ガイド連絡協議会
2. 26 (金)	第9回屋久島世界遺産地域連絡会議	鹿児島市	屋久島世界遺産地域連絡会議
3. 1 (月)	屋久島森林管理署開所式	安房公民館	屋久島森林管理署
3. 6 (土)	屋久サバの森植樹祭及び一湊中森林教室	一湊中学校外	上屋久町漁協 鹿児島県 上屋久町
3. 12 (金) ～13 (土)	'99グローバル・ユース・エキスチェンジ・プログラム	白谷雲水峡外	グローバル・ユース・エキスチェンジ・プログラム事務局
3. 21 (土)	ウミガメ保護植樹祭	いなか浜	屋久島環境文化財団

VI 視察等対応状況

平成10年度における保全センターでの視察等対応は次のとおりです。

視 察 団	件 数	視 察 場 所
一 般 企 業 等	6	保全センターで講義・ヤクスギランド・縄文杉
議 員 団 等	4	保全センターで講義・ヤクスギランド・白谷雲水峡
公務による研修等	14	保全センターで講義・ヤクスギランド・白谷雲水峡・縄文杉等
海 外 研 修	2	保全センターで講義・ヤクスギランド・白谷雲水峡・縄文杉
大 学 等 調 査 研 究	1	保全センターで講義
マ ス コ ミ 等 取 材	3	保全センターで取材・黒味岳・ヤクスギランド・白谷雲水峡等